

七十七の地域貢献

～地域社会への貢献と「地域密着型金融の推進」～

平成22年3月期
平成21年4月1日～平成22年3月31日

七十七銀行

目 次

1. 地域貢献に関する考え方	1
2. 地域密着型金融の推進	2
3. 金融円滑化推進への取組状況	5
4. 地域への信用供与の状況	8
(1) 貸出業務全般	
(2) 中小企業向け貸出業務	
(3) 個人向け貸出業務	
5. 地域のお客さまへの 利便性提供の状況	16
(1) 店舗網等各種チャネルの整備	
(2) 預金業務等	
(3) 決済サービス	
(4) その他のサービス	
6. 地域経済活性化への取組状況	26
(1) 地元企業のサポート	
(2) 企業の育成への取組み	
(3) 地方公共団体の事業との関係	
7. 地域社会への各種支援活動の状況	35

七十七銀行は、宮城県のリーディングバンクとして、明治11年の創業以来永きにわたり地域の皆さまと共に歩んでまいりました。昭和36年に経営の基本理念として制定し、現在も行動の規範として役職員に浸透している「行是」では、「自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する」旨を謳っています。またそのなかでも「奉仕の精神の高揚」を第一に掲げて、地域社会の繁栄のために奉仕する姿勢を説いています。

行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行い、もって国民経済の発展に寄与することである。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものによるべき軌範を定める。

一. 奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一. 信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一. 和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

七十七銀行は、こうした基本理念のもと、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし地域社会と共生する企業となることを目指しています。

具体的には、地域経済の発展に寄与するために、地域への円滑な資金供給とお客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っているほか、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っています。さらに、良き企業市民としての観点から、社会貢献活動も継続的に行っています。

七十七銀行は、「行是」の理念を全うするために、地域社会への貢献を積極的にを行い、その内容を地域の皆さまに十分にご理解いただけるよう今後とも努力してまいります。

※当行にとっての「地域」とは、当行の主要な営業基盤である「宮城県」を念頭においています。

■地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密な長いお付き合いの中で蓄積してきた情報を基に行っていく銀行取引」のことです。当行の地域密着型金融の推進に関する基本的な理念は、「1. 地域貢献に関する考え方」に記載した行是の理念そのものであり、行動の軌範として役職員に深く浸透しています。

七十七銀行では、こうした基本的な理念に基づき、以下を中期経営計画に定めています。当行はこの理念の実現に向け、これまで以上に地域社会の発展に貢献してまいります。

1. 目指す銀行像（中期経営計画「当行が目指す銀行像」）

「地域と共に新たな時代を創造する『Best creative bank』」

2. ステークホルダーに対する貢献(中期経営計画「重点施策」より)

(1) 地域経済発展への貢献

地域産業構造変換への対応、地元企業の育成・再生支援に取り組めます。

(2) 顧客満足度の向上

コンサルティング能力の向上とホスピタリティの追求により顧客満足度の向上を図ります。

■平成21年度地域密着型金融推進計画の進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○創業・新事業支援機能等の強化

技術・アイデア面に優位性を有する創業・新事業進出企業に対し、宮城県における創業・新事業関連融資制度を活用した積極的な資金供給のほか、中小企業基盤整備機構、東北大学および東北イノベーションキャピタル等外部支援機関への紹介を通じたハンズオン支援や、ビジネスマッチング情報の提供による販路拡大支援など、投融資以外の面からも支援を実施しました。

目 標	創業・新事業支援実績件数：50件
実 績	62件（うち創業・新事業支援融資実績48件／507百万円）

○事業承継、相続対策ニーズへの積極対応

取引先企業のオーナーや資産家の皆さまが抱える事業承継や相続に関する相談に積極的に対応し、自社株評価や相続税の概算評価等を通じて問題点を共有したうえで解決の方向性を提案する活動を強化しました。

また、営業店長をはじめとした行員向けに外部専門家講師による事業承継に関する休日勉強会を実施する等、行員の相談対応力の向上に努めました。

目 標	事業承継・相続提案件数：100件
実 績	150件

○その他の取組み

経営改善支援取組み率：9.0% ＝経営改善支援取組み先数596件／期初債務者数6,648先〔正常先を除く〕				
ランクアップ率：16.1% ＝ランクアップ先数96先／経営改善支援取組み先数596先〔正常先を除く〕				
再生計画策定率：46.8% ＝再生計画策定先279先／経営改善支援取組み先数596先〔正常先を除く〕				
<経営改善支援等の取組み実績>				
	期初 債務者数	うち経営 改善支援 取組み先	うちランク アップ先数	うち再生 計画策定先
要注意先(要管理先を除く)	5,660先	526先	82先	227先
要管理先	119先	31先	7先	20先
破綻懸念先	529先	34先	5先	28先
実質破綻先	289先	5先	2先	4先
破綻先	51先	0先	0先	0先
合計	6,648先	596先	96先	279先
<再生計画策定先内訳>				
		先数	うち平成 21年度 策定先	
中小企業再生支援協議会の活用による再生計画策定先		7先	2先	
整理回収機構の活用による支援決定先		1先	1先	
当行独自の再生計画策定先		271先	81先	
合計		279先	84先	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

○資金調達手段多様化への取組強化

中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給を行うため、財務制限条項を活用した融資や動産担保を活用した融資の積極的な推進を行いました。

目 標 ：財務制限条項活用融資実行金額：10,000百万円
実 績 ：106件／5,225百万円

目 標 ：ABL取扱件数：10件
実 績 ：10件

○行員の目利き能力の向上

中小企業に対する融資判断に際し、赤字、債務超過等の事象のみで画一的に判断することなく、経営実態や特性を踏まえて行うことができるよう、行員向けの研修や休日勉強会のカリキュラムに自動車関連産業をはじめとした取引先企業の工場見学を取入れる等、行員の目利き能力の向上に取り組んでいます。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

○ビジネス商談会の開催

平成21年6月には宮城県と共催で「みやぎビジネス商談会」を、7月には地銀10行と合同で「ものづくり商談会@上海（2009 SUMMER）」を中国上海市で開催したほか、10月には宮城県、山形県、山形銀行等と連携し「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」を山形で、11月には地銀15行と連携し「地方銀行フードセレクション2009」を東京で開催しました。ビジネス商談会による情報提供を中心としたビジネスマッチング情報提供件数は、目標を大幅に上回るなど、取引先の皆さまの販路拡大に貢献しました。

目	標：ビジネスマッチング情報提供件数：1,500件
---	--------------------------

実	績：2,731件
---	----------

■地域密着型金融推進計画（平成22年度）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○創業・新事業支援機能等を強化します。

目	標：創業・新事業支援実績件数：50件
---	--------------------

○事業支援・経営改善支援機能等を強化します。

○事業承継、相続対策ニーズに積極的に対応します。

目	標：事業承継・相続提案件数：100件
---	--------------------

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

○資金調達手段多様化への取組みを強化します。

目	標：財務制限条項活用融資実行金額：10,000百万円
---	----------------------------

目	標：ABL（アセット・ベース・レンディング：動産担保融資）取扱件数：10件
---	---------------------------------------

○行員の目利き能力の向上を図ります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

○食製品および工業製品を対象としたビジネス商談会を開催します。

目	標：ビジネスマッチング情報提供件数：1,500件
---	--------------------------

○自動車関連産業やアグリビジネス等、地場産業の発展を支援します。

■金融円滑化の推進状況

当行では、地域金融機関として地域への円滑な資金の供給を通じ、地域経済の活性化を図るといった社会的責任を果たすため、お客さまの目線に立ち、新規のお借入および貸付条件変更等のご相談・お申込みに対して柔軟に取組むなど金融の円滑化を積極的に推進しています。

◆貸付条件変更等の対応状況

平成21年12月4日の中小企業金融円滑化法施行後の貸付条件変更等の対応状況は以下のとおりとなっています。（平成22年3月末現在の累計）

<個人事業主や中小企業のお客さま>

	件数 (件)	金額 (百万円)
申込み	2,629	103,052
実行	2,019	83,008
謝絶	57	1,016
審査中	457	17,005
取下げ	96	2,023

<住宅ローンをご利用のお客さま>

	件数 (件)	金額 (百万円)
申込み	476	5,468
実行	293	3,382
謝絶	9	107
審査中	145	1,579
取下げ	29	399

■金融円滑化推進にかかる態勢整備の状況

◆態勢整備の状況

実施日	内容
平成21年 7月 1日	・「住宅ローンご返済相談窓口」を県内8カ所のローンセンターに設置
11月14日	・中小企業および個人事業主の相談に対応するため「休日相談窓口」を設置 ・本部に専用電話相談窓口を設置
12月 1日	・金融円滑化推進委員会の設置、金融円滑化対応専担者を2名配置 ・全営業店に「金融円滑化相談窓口」を設置 ・「休日相談窓口」および「住宅ローンご返済相談窓口」の設置期間を平成23年3月末まで延長
12月 4日	・中小企業金融円滑化法施行
12月25日	・「金融円滑化推進についての当行の方針」を公表
平成22年 1月25日	・「苦情・ご相談に関する専用フリーダイヤル」を設置

◆ご相談受付の体制

当行では、積極的な金融仲介機能の発揮を通じた金融円滑化の推進に向けた取組みを一層強化するため、全ての営業店およびローンセンターに、住宅ローンをご利用のお客さまおよび個人事業主や中小企業のお客さまを対象とした「ご相談窓口」を拡充し、お客さまの事情に応じた、きめ細かなご相談に積極的に応じております。

○個人事業主や中小企業のお客さまを対象とした「ご相談窓口」

	窓口でのご相談		お電話でのご相談
	平日	休日	
設置場所	各営業店(注1) 「金融円滑化相談窓口」	本店ローンセンター(本店3階) 事業資金にかかる 「休日相談窓口」	フリーダイヤル 0120-65-1077
ご相談内容	お借入やご返済に関するご相談		
受付日	月曜～金曜 (祝日、12月31日を除く)	平成23年3月27日(日)までの 土曜、日曜、祝日(注2)	平成23年3月31日(木)までの 全日(注2)
営業時間	午前9時～午後3時	午前9時～午後4時30分	午前9時～午後4時30分

注1:出張所、個人取引特化店および相談プラザでは、住宅ローンに関するお借り入れやご返済に関するご相談とさせていただきます。

注2:「12月31日～1月3日」および「5月3日～5月5日」は休業日とさせていただきます。

○住宅ローンをご利用のお客さまを対象とした「ご相談窓口」

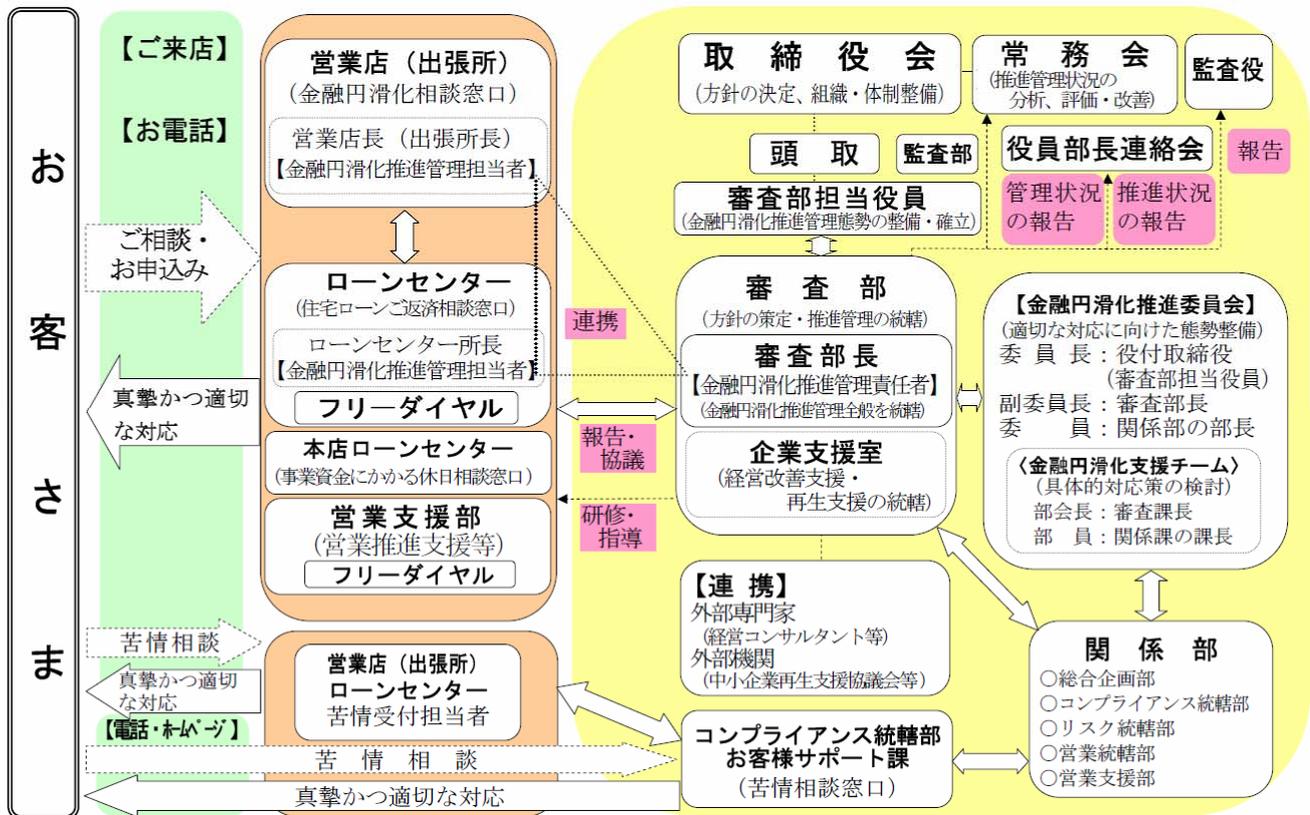
	窓口でのご相談		お電話でのご相談
	平日	休日	
設置場所	各営業店 「金融円滑化相談窓口」 県内8カ所のローンセンター 「住宅ローンご返済相談窓口」	県内8カ所のローンセンター 「住宅ローンご返済相談窓口」	各ローンセンターでの 「住宅ローンご返済相談 フリーダイヤル」
ご相談内容	住宅ローンのお借入や毎月のご返済額、借入期間などのご返済に関するご相談		
受付日	月曜～金曜(祝日、12月31日を除く) 但し、ローンセンターは 平成23年3月31日(木)まで	平成23年3月27日(日)までの 土曜、日曜、祝日(注)	平成23年3月31日(木)までの 全日(注)
営業時間	午前9時～午後3時	午前9時～午後4時30分	午前9時～午後4時30分

注:各ローンセンターの休業日は除きます。また、「12月31日～1月3日」および「5月3日～5月5日」は休業日とさせていただきます。

○苦情等のご相談に関する専用フリーダイヤル

設置場所	コンプライアンス統轄部 お客様サポート課
フリーダイヤル	0120-3760-77
受付日	平日
	月曜～金曜 (祝日、12月31日を除く)
営業時間	午前9時～午後5時

◆金融円滑化推進にかかる行内体制の概要



■その他金融円滑化への取組状況

◆景気対応緊急保証制度等への取組状況

当行では、景気回復が不透明な状況のなか、地域の中小企業の皆さまの資金繰り円滑化に向けた支援を一層強化するため、平成20年10月に要件が緩和されたセーフティネット5号の認定を活用した景気対応緊急保証制度等について、融資取引の有無にかかわらず訪問やダイレクトメールの送付などにより幅広く制度のご案内を行うなど積極的な取組みを行いました。

その結果、平成22年3月末までの取扱いは3,070件/702億円となり、多くの資金需要にお応えすることができました。

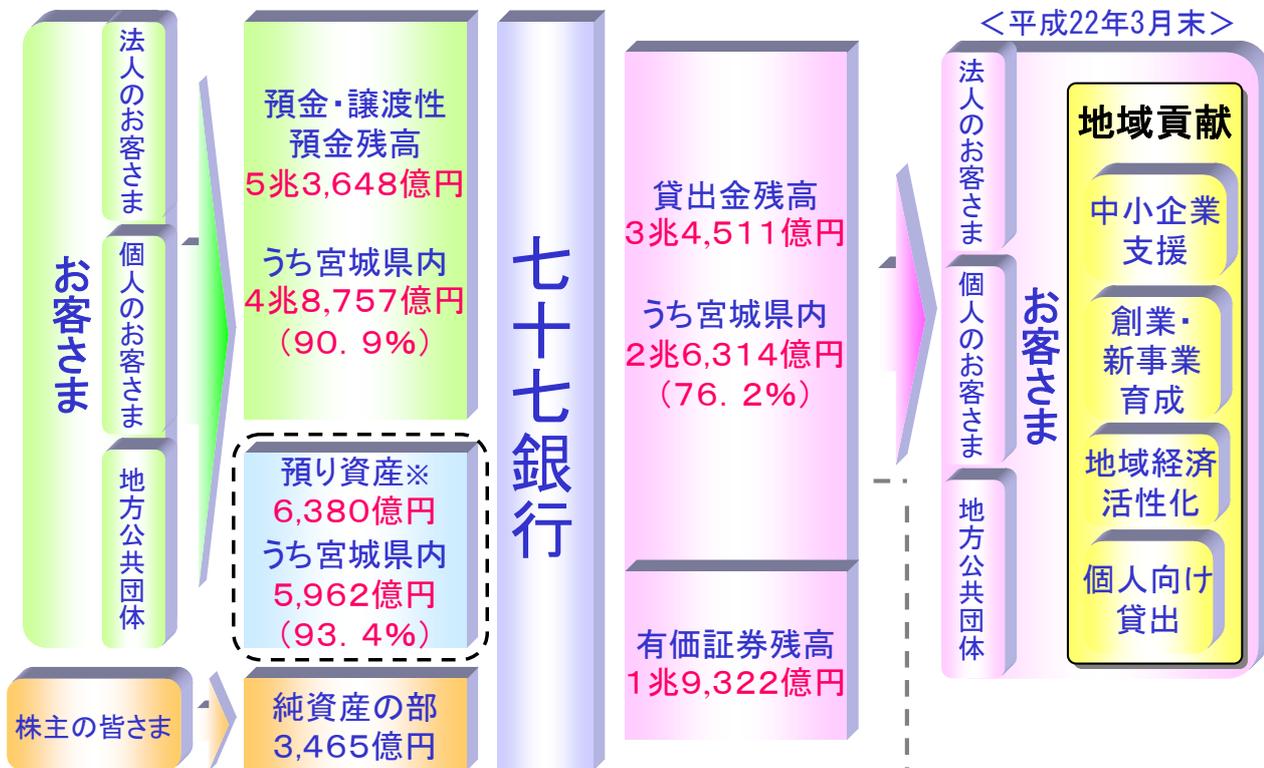
◆営業店長による訪問運動を通じたお客さまとの接点増加

平成21年度上半期には約2万1千先、同下半期には約2万2千先の法人・個人のお客さまへ営業店長を中心に訪問する運動を実施し、それ以後も随時訪問を継続するなどお客さまとの接点増加に努めています。

訪問の際には、営業店長自らがお客さまの生の声をお聞きするとともに、今後の資金繰りを含めたお客さまの経営課題や資産運用の悩み等を承り、問題解決に向けたアドバイスを実施しています。

(1) 貸出業務全般

七十七銀行は、地域への円滑な資金供給と利用者の皆さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供のため、利用者の皆さまからお預かりした預金等を、以下のように運用しています。



※「預り資産」は、外貨預金を除き当行の運用資産ではありません。

■業種別貸出金の状況

貸出金の業種別宮城県内向け割合をみると、貸出金残高ベースでは14業種中9業種において宮城県内向けが7割以上となっています。また、貸出先数ベースでは金融・保険業を除くすべての業種で宮城県内向けが8割を超えています。このように当行は、宮城県内のそれぞれの業種に対して、資金供給者として重要な役割を担っています。

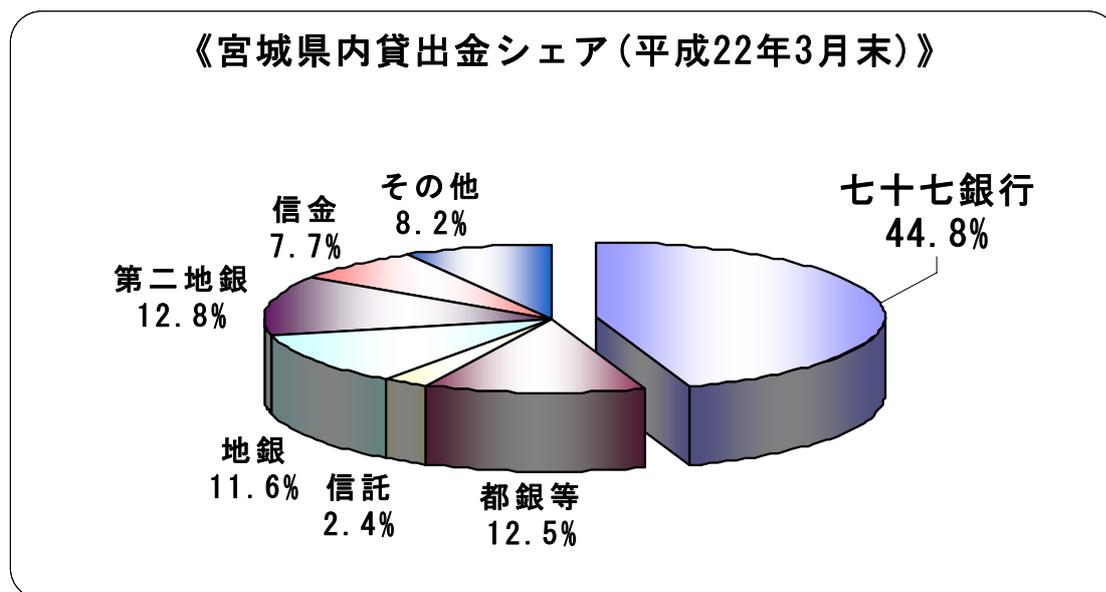
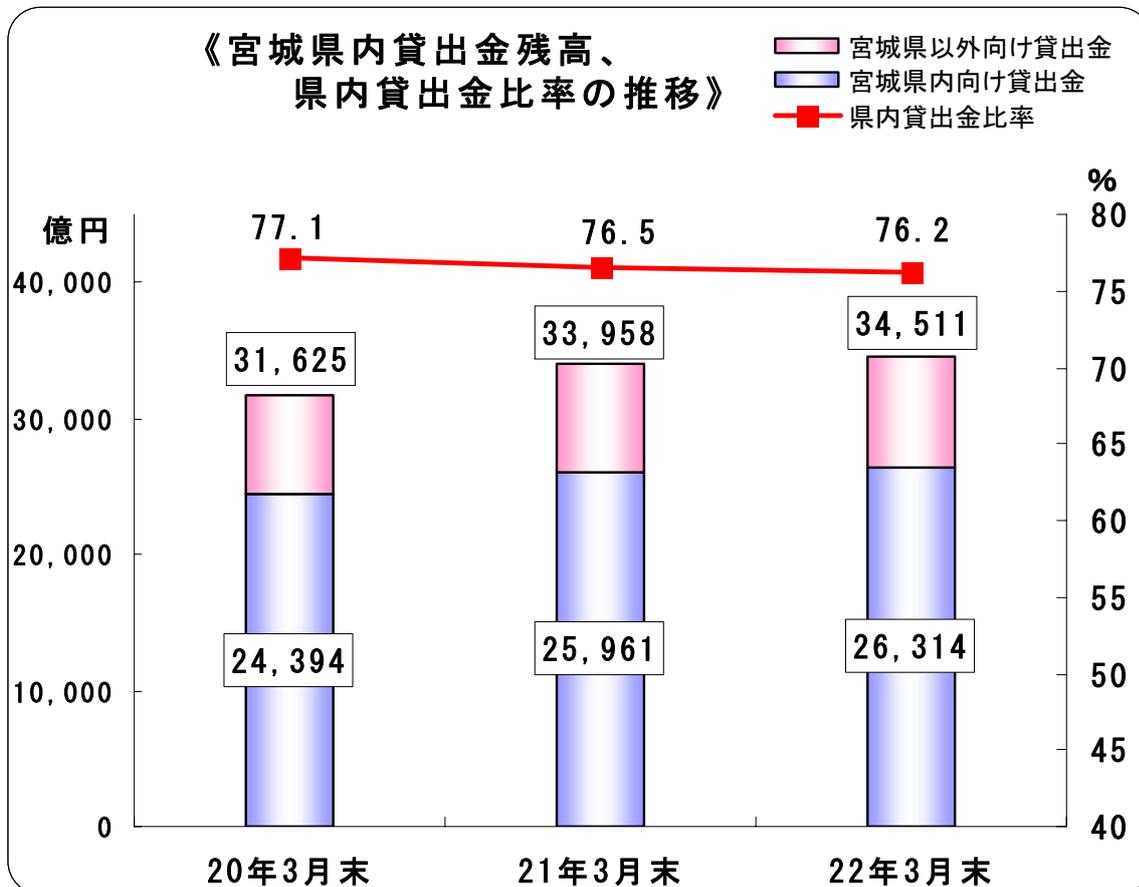
〈平成22年3月末〉

(単位：億円、先)

	貸出金残高	うち宮城県内向け		貸出先数	うち宮城県内向け	
			同比率			同比率
製造業	3,418	1,744	51.0%	1,707	1,440	84.4%
農業、林業	34	30	88.8%	98	90	91.8%
漁業	53	48	89.4%	56	46	82.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	45	38	86.0%	17	16	94.1%
建設業	1,488	1,336	89.8%	2,558	2,448	95.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	725	590	81.3%	35	29	82.9%
情報通信業	355	134	37.7%	181	161	89.0%
運輸業、郵便業	666	317	47.6%	441	396	89.8%
卸売業、小売業	3,349	2,643	78.9%	3,210	2,890	90.0%
金融業、保険業	2,366	456	19.3%	91	34	37.4%
不動産業・物品賃貸業	5,088	2,818	55.4%	2,843	2,567	90.3%
その他サービス業	2,441	2,000	81.9%	3,690	3,422	92.7%
地方公共団体	6,708	6,639	99.0%	56	50	89.3%
その他	7,775	7,521	96.7%	164,526	158,331	96.2%
合計	34,511	26,314	76.2%	179,509	171,920	95.8%

■宮城県内向け貸出金の状況

当行の貸出金のうち、約76%が宮城県内向け貸出となっています。また、宮城県内における当行の貸出金シェアは、44.8%と高水準を維持しています。



※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません。

(2) 中小企業向け貸出業務

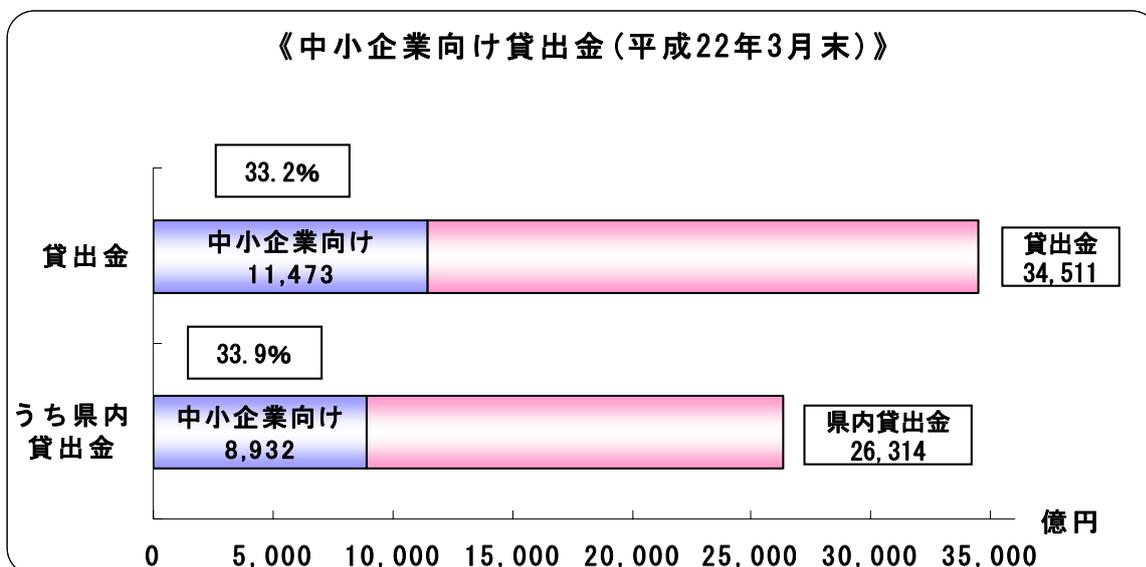
当行の貸出は、残高ベースで約33%が中小企業のお客さま向けとなっています。また、貸出先数(個人、地方公共団体を除く)では、貸出先の約97%が中小企業のお客様です。

■ 中小企業向け貸出の状況

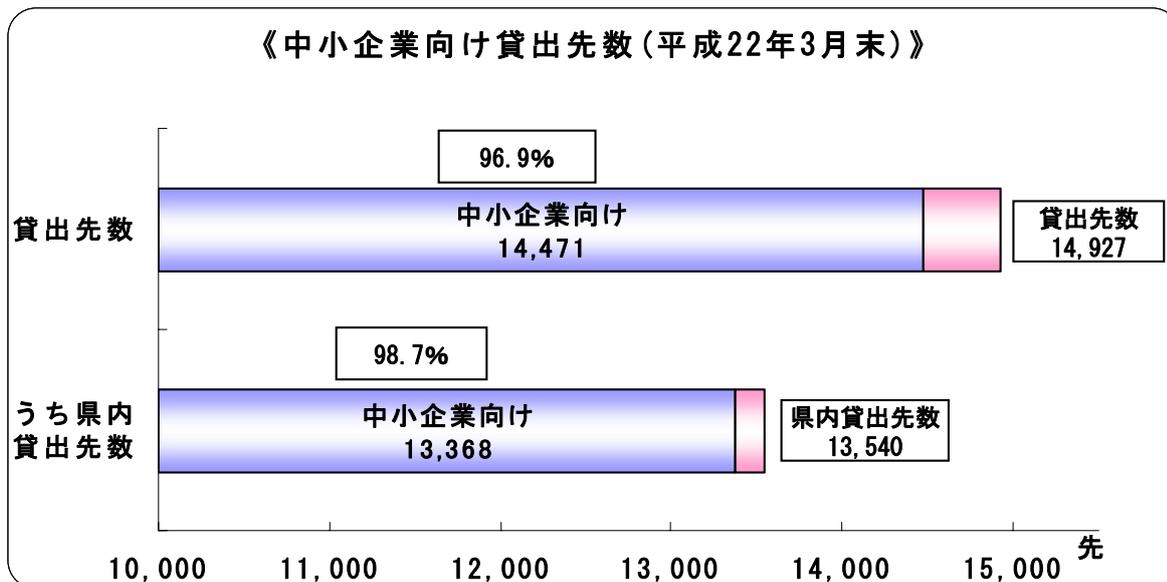
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち中小 企業向け		貸出先数 (個人、地方公 共団体除く)	うち中小 企業向け	
		金額	同比率		金額	同比率
平成21年3月末	33,958	11,129	32.8%	14,699	14,261	97.0%
うち宮城県内向け	25,961	8,836	34.0%	13,367	13,199	98.7%
平成22年3月末	34,511	11,473	33.2%	14,927	14,471	96.9%
うち宮城県内向け	26,314	8,932	33.9%	13,540	13,368	98.7%

《 中小企業向け貸出金 (平成22年3月末) 》



《 中小企業向け貸出先数 (平成22年3月末) 》

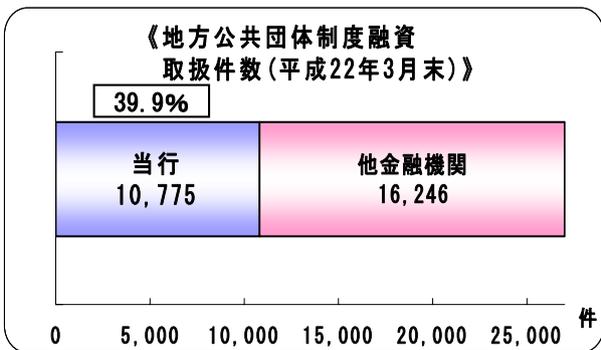
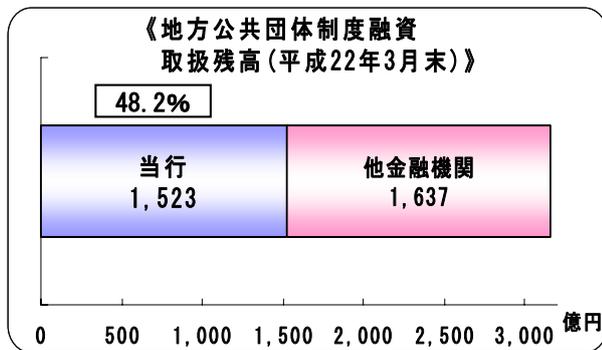
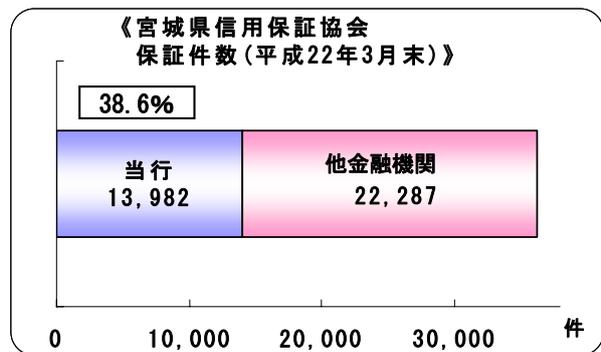
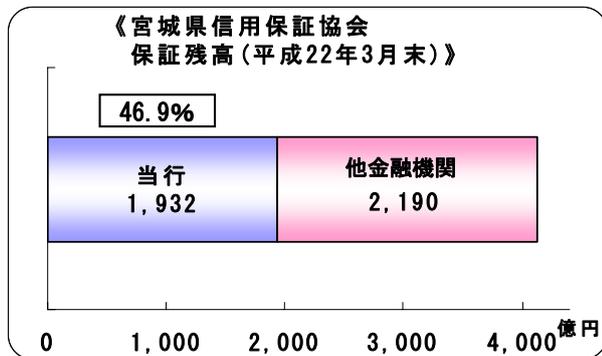


(参考) 宮城県内の従業者数300人未満の事業所数は約105千事業所(総務省「事業所・企業統計調査報告：平成18年10月1日」)であり、当行は宮城県内中小企業のほぼ8社に1社に対して貸出を行っていることとなります。

■宮城県信用保証協会付貸出・地方公共団体制度融資への取組状況

当行は、宮城県信用保証協会と連携し同協会保証付貸出を推進しています。同協会保証付貸出の当行の取扱シェアは残高で約47%、件数で約39%となっています。

また、地方公共団体の制度融資も積極的に推進しており、当行の取扱シェアは残高で約48%、件数で約40%となっています。



《主な保証協会保証付融資商品と当行取扱状況(平成22年3月末)》

商品名(制度名)		商品の概要等	取扱件数(件)	残高(億円)
体制主 制な 度地 融方 資公 商共 品団	宮城県中小企業経営安定資金	宮城県内の中小企業を対象とし、一般資金と売掛債権担保活用資金、セーフティネット資金に区分されます。	5,558	1,094
	仙台市中小企業育成資金	仙台市内の中小企業を対象とし、振興資金と経済変動対策資金に区分されます。	2,524	291
	市町村中小企業振興資金	市町村の制度要綱に基づき、市町村長が認める企業を対象とした制度融資です。	1,886	98
事業者ローン(県信保口) (制度名:合理化資金保証)		宮城県内で3年以上同一事業を営み、銀行が特に推薦する中小企業にご融資します。	89	10
中小企業特定社債保証		純資産が1億円以上の中小企業が発行する社債に銀行と共同保証します。なお、財務要件を満たす必要があります。	28	25
事業者カードローン(県信保口) (制度名:事業者カードローン 当座貸越根保証)		ご契約極度額の範囲内であれば、いつでも自由にお使いいただけます。	1,639	84

※事業者カードローン残高は極度額を記載しています。

■中小企業向け融資商品

当行では、その他にも中小企業のお客さま向けの以下のような融資商品を取り揃え、中小企業金融の円滑化に取り組んでいます。

《主な融資商品と取扱状況(平成22年3月末)》

商品名	商品の概要等	取扱件数 (件)	残 高	
			(億円)	県内 比率
77パートナー スペシャルファンド	一定の財務要件を満たす優良企業を対象とした商品です。融資期間中の財務指標の変化に応じて金利を変更する財務制限条項をつけており、同条項を活用することで担保・第三者保証人を不要とするとともに、低利の固定金利資金を提供しています。	648	228	90.6%
77パートナー チャレンジファンド	一定の財務要件を満たす中堅・中小企業を対象とした無担保・第三者保証人不要の固定金利商品です。	276	36	93.6%
七十七社会貢献活動 支援ローン	環境保護関連活動、育児支援関連活動など、社会貢献活動にかかる資金としてご利用いただける融資商品です。	3	0.7	20.6%
77医療・福祉 ローン	病院や診療所、老人福祉施設など向けの融資商品です。	131	98	89.8%
77アグリパート ナー50	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「無担保・第三者保証人不要」のご融資です。融資金額は最大5千万円、融資期間は最大7年であり、運転資金・設備資金にご利用いただけます。	3	0.4	100.0%
77アグリビジネス ローン 〈アクティブ〉	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「スピード回答」「無担保・第三者保証人不要」のご融資で、運転資金・設備資金にご利用いただけます。 ※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要なになります。	14	0.4	88.9%
77ビジネスローン 〈フォワード30〉	当行との融資取引1年以上の中小企業および医療法人のお客さまに、運転資金としてご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要を特徴としているあいおい損害保険㈱の信用保険を活用した融資商品です。 ※保険料は当行が負担いたします。	271	16	95.0%
77ビジネスローン 〈アクティブ30〉	〈アクティブ30〉は当行と融資取引のあるお客さまに、〈アクティブ10〉は融資取引のないお客さまにご利用いただけます。いずれも無担保・第三者保証人不要を特徴としています。また、融資期間は最長5年であり、運転資金・設備資金のほか、決算・賞与資金にもご利用いただけます。 ※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要なになります。	450	20	95.9%
77ビジネスローン 〈アクティブ10〉		19	0.2	91.7%

(3) 個人向け貸出業務

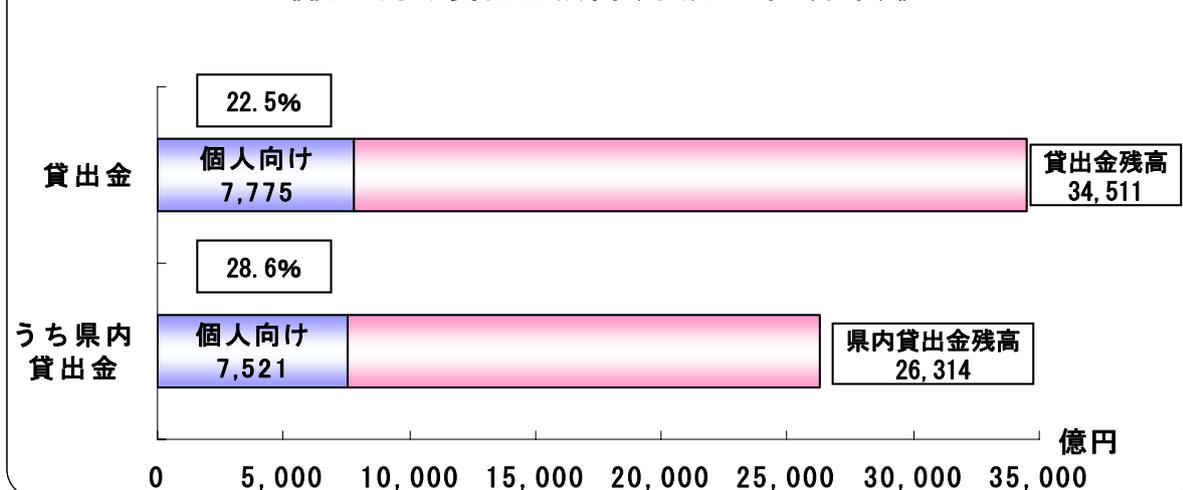
■個人向け貸出金の状況

当行の個人向け貸出比率は残高ベースで約23%となっています。また、宮城県内に限れば、残高の約29%が個人向けとなっています。

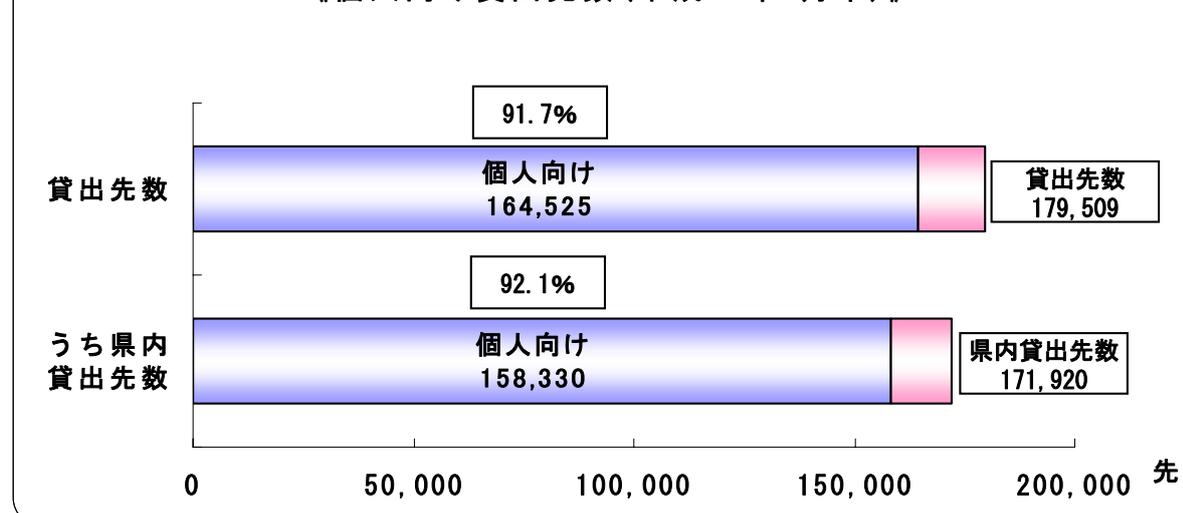
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち		貸出先数	うち	
		個人向け	同比率		個人向け	同比率
平成21年3月末	33,958	7,506	22.1%	182,281	167,527	91.9%
うち宮城県内向け	25,961	7,249	27.9%	174,456	161,040	92.3%
平成22年3月末	34,511	7,775	22.5%	179,509	164,525	91.7%
うち宮城県内向け	26,314	7,521	28.6%	171,920	158,330	92.1%

《個人向け貸出金残高(平成22年3月末)》



《個人向け貸出先数(平成22年3月末)》



■住宅ローンの取扱状況

当行の住宅ローンは、残高、件数ともに増加傾向にあります。当行の住宅ローンのうち、残高、件数とも約97%が宮城県内向けの取扱いとなっています。

(単位：億円、件)

	住宅ローン 残高			住宅ローン 件数		
		うち 県内向け	同比率		うち 県内向け	同比率
平成21年3月末	6,619	6,423	97.0%	54,316	52,773	97.2%
平成22年3月末	6,943	6,747	97.2%	55,413	53,874	97.2%

(参考) 宮城県内の持ち家世帯数は521千世帯(総務省「国勢調査：平成17年10月1日」)であり、当行は宮城県内持ち家世帯のほぼ10世帯に1世帯に対して貸出を行っていることとなります。

■個人向け融資商品の取扱状況

当行では、以下のような融資商品を取り揃え、個人のお客さまの様々な資金ニーズに対応しています。

《主な融資商品と取扱状況(平成22年3月末)》

商品名	商品の概要等	残高 (億円)	
		県内 比率	
住宅ローン	住宅の新築・増改築、建売住宅・マンション・土地の購入など住みづくりのための資金調達、または他の金融機関で借入している住宅ローンのお借換えを目的としたローンです。	6,943	97.2%
くらしあっぷローン	ライフプランや目的に合わせて、マイカープラン、教育プラン、フリープラン、フリープランワイドの4種類をご用意しています。全て保証会社保証付の無担保・保証人不要のローンです。	117	96.6%
カードローン	当座貸越専用口座を開設するとともに、専用カードを交付し、そのカードにより現金自動支払機を利用して貸付けいたします。所定の極度額の範囲内であれば、反復して自由に借入可能なローンです。	230	94.3%
77モビット (注)	上記カードローンのうち、消費者金融会社の(株)モビットと保証提携しているカードローンです。24時間365日、電話、郵送、ファックス、インターネット、携帯サイトで簡単かつ短時間で申込みいただけ、審査結果はスピード回答いたします。また、当行とお取引がなくても申込可能となっています。	46	96.5%

上記のほか、居住用不動産に根抵当権を設定することにより反復してご利用できる資金使途が自由な「よゆうのローン」、各市町村と提携した提携ローンなどがあります。

注：平成22年4月19日より商品内容をリニューアルし、「77モビットα(アルファ)」のお取扱いを開始したことから、現在「77モビット」の新規お申込みは受付いたしておりません。

■取引チャネルの状況

◆ローンセンター

宮城県内8カ所に、個人向けローンを専門的に取扱う拠点としてローンセンターを設置しており、住宅ローンでは当行全体の取扱件数の約5割を取扱っています。

県内5カ所のローンセンターでは土曜・日曜営業を、県内3カ所のローンセンターでは日曜営業を行っており、より便利にご利用いただけます。

《ローンセンターの取扱状況：平成21年度》

(単位：件、%)

		当行住宅ローン
当行全体の取扱件数	a	5,862
ローンセンターの取扱件数	b	2,908
ローンセンターの取扱比率	$b \div a$	49.6

◆取引チャネルの多様化等

お客さまの利便性を高めるため、取引チャネルの多様化を進めています。

当行ホームページでは、窓口にご来店いただくことなく、住宅ローンをはじめとした各種個人ローンのお申し込み（仮審査お申込）ができる「77ローンサービス」を行っています。※ご融資契約の際にはご来店が必要です。

また、当行ホームページには、住宅関連の総合情報を提供するサイト「77住まいづくり応援プラザ」を掲載しており、個人のお客さまのライフプランに合わせた各種情報やシミュレーション機能をご利用いただけます。

《取引チャネル別消費者ローン受付状況：平成21年度》

(単位：件)

		住宅ローン	くらしあっぷローン等	77モビット	合計
店	頭	7,521	5,495	—	13,016
電	話	—	—	1,303	1,303
F	A	—	1,353	89	1,442
インターネット		198	1,126	177	1,501
郵	送	—	1,833	179	2,012
携帯サイト		—	—	1,352	1,352
合	計	7,719	9,807	3,100	20,626

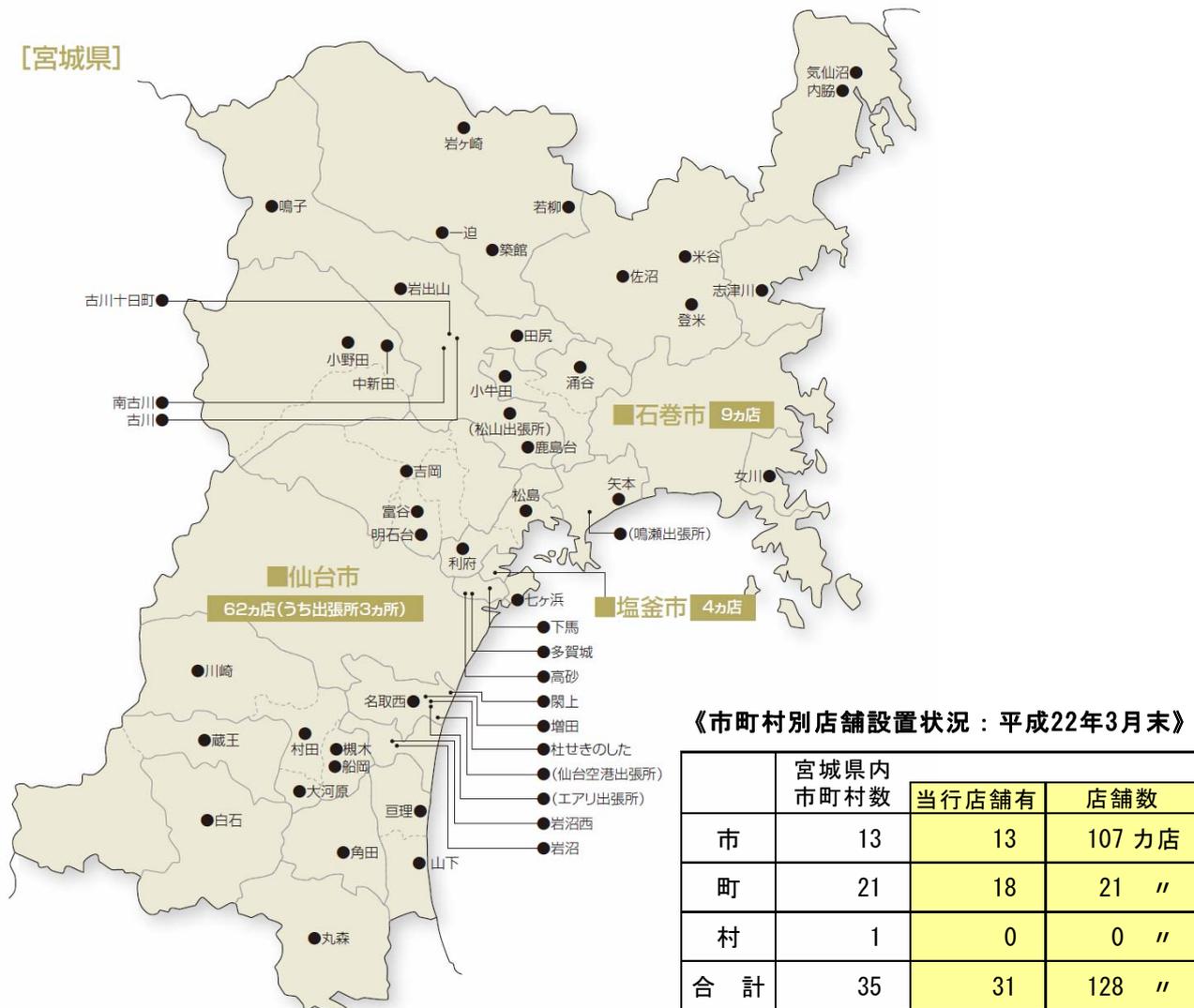
(1) 店舗網等各種チャネルの整備

■ 有人店舗の状況

◆ 店舗網

当行は、出張所を含め143カ店のうち、宮城県内に128カ店を展開しています。

(平成22年3月31日現在)



◆ お客さまのご来店状況

当行の宮城県内の店舗では、一日あたり約165千件のご利用をいただいています。

《お客さまご利用件数：平成21年度》

	総ご利用件数	うち 宮城県内店舗 ご利用件数	一日平均	
			一日平均	一店舗平均
窓口ご利用件数	6.6 百万件	6.3 百万件	25,872 件	202 件
A T Mご利用件数	50.9 //	49.7 //	138,753 //	1,093 //
合計	57.5 //	56.0 //	164,625 //	1,295 //

※「窓口ご利用件数」は窓口での受付件数を、「A T Mご利用件数」は店舗内A T Mのご利用件数を示しています。

◆休日営業等への取組み

当行では、お客様の利便性向上のため、「相談プラザ」や「ローンセンター」において、休日営業等を実施し、お客さまにより便利にご利用いただけるよう努めています。

また、各ローンセンターでは、住宅ローンをご利用の皆さまを対象とした「ご返済相談窓口」を、本店ローンセンターでは、個人事業主や中小企業の皆さまを対象とした事業資金にかかる「休日相談窓口」を設置いたしております。

《相談プラザ・ローンセンターの営業日・営業時間》

相談プラザ・ローンセンター名	営業日・営業時間
エアリ相談プラザ (イオンモール名取エアリ内)	年中無休:午前10時～午後10時
明石台相談プラザ (明石台支店内)	平日:午前9時～午後5時 土曜・日曜・祝日:午前10時～午後5時 (12月31日～1月3日は休業)
泉中央相談プラザ(泉中央支店2階) 長町相談プラザ(長町支店2階)	平日・土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
仙台駅前相談プラザ (仙台駅前支店内)	平日:午前9時～午後4時30分
本店ローンセンター	平日:午前9時～午後3時 土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
長町ローンセンター 泉ローンセンター 仙台東口ローンセンター	平日・土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
古川ローンセンター 岩沼ローンセンター	平日:午前9時～午後3時 日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、日曜以外の祝日は休業)
石巻ローンセンター	平日・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、日曜以外の祝日は休業)
杜せきのしたローンセンター	平日・土曜・日曜・祝日:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日は休業)

※本店、仙台東口の各ローンセンターの土曜・日曜、古川、岩沼の各ローンセンターへの日曜のご来店につきましては、事前の予約が必要です。

■ATMの状況

◆ATMネットワーク

当行は、宮城県内のキャッシュサービスコーナー366カ所（店舗内128、店舗外238）に、ATM877台を設置しています。（平成22年3月31日現在）また、イーネット、ローソン・エイティエム・ネットワークス、セブン銀行およびイオン銀行とATM利用提携を行っており、全国約3万3千台のコンビニATM等でキャッシュカードを利用した出金・残高照会等の取引がご利用いただけます。

また、山形銀行、東邦銀行とのATM相互利用サービス「MYキャッシュポイント」、県内6金融機関（仙台銀行、杜の都信用金庫、宮城第一信用金庫、石巻信用金庫、仙南信用金庫、気仙沼信用金庫）のATM相互利用サービス「みやぎネット」に加え、平成21年5月からは、東北銀行、北日本銀行と平日昼間の出金手数料を無料とするATM相互利用サービスを実施しております。

当行はお客さまの利便性をより一層向上させるため、今後もサービスの拡充をはかってまいります。

《キャッシュサービスコーナー、A T Mの設置状況(平成22年3月末)》

(単位:カ所、台)

	キャッシュサービスコーナー		A T M 設置台数	
		うち宮城県内		うち宮城県内
七十七銀行	382	366	906	877
セブン銀行	13,432	334	14,601	347
イーネット	10,215	288	10,256	288
ローソン・エディエム・ネットワークス	6,964	115	6,969	115
イオン銀行	1,527	37	1,641	37

※ローソン・エディエム・ネットワークスの宮城県内の数値は当行管理分のみ。

《A T Mのご利用件数：平成21年度》

総合計	うち宮城県内キャッシュサービスコーナー			
		一日一台あたり		
			店舗内	店舗外
85.1百万件	83.7百万件	291件	256件	355件

※店舗外A T Mを含めたご利用件数を示しています。

◆障がい者対応A T Mの設置状況

当行は、視覚に障がいをお持ちのお客さまにより便利にご利用いただけるように、キャッシュサービスコーナーのある全営業店141カ店に音声案内機能付A T M、誘導点字ブロックを整備しています。

◆キャッシュカードを利用する取引にかかるセキュリティ強化への取組み

偽造・盗難キャッシュカード等による預金の不正引出し被害が増加し、社会問題化していることから、当行ではキャッシュカード取引にかかるセキュリティ強化に積極的に取り組んでいます。お客さまの大切なご預金をお守りするため、1日あたりの払戻限度額を200万円に設定するとともに、その範囲内でお客さまが任意に払戻限度額を設定できるサービスを行っています。

また、個人のお客さまを対象に、よりセキュリティの高いI Cキャッシュカードおよび「手のひら静脈」による本人確認の取扱いを行っています。当行のキャッシュコーナーに設置しているすべてのA T Mでご利用いただけます。

◆通帳繰越機能付記帳機の設置

当行では、通帳繰越機能付記帳機を116カ店/118台設置しております。また、上記のうち39カ店/40台につきましては、お客様により便利にご利用いただけるよう通常平日午後3時までの稼働時間を午後4時30分(ただし、エアリ出張所については平日午後8時)まで延長しております。

■休日におけるお客さまのトラブル対応

偽造・盗難キャッシュカード被害の未然防止策として、お客さまからのキャッシュカード紛失・盗難等の事故のお届けを、24時間受付する体制を整備しています。

お通帳、キャッシュカード等の紛失等緊急の場合のご連絡先
(24時間365日受付)
フリーダイヤル [0120-77-1099]

※ATM操作時にトラブルが発生した場合は、キャッシュサービスコーナーに備付のガイドフォンをご利用下さい。

■チャネル多様化の取組状況

当行は、お客さまの多様なニーズにお応えし、店舗にご来店いただかなくとも直接ご利用いただけるよう、以下のようなダイレクトチャネルを充実させてまいりました。

◆テレフォンバンキング

電話による残高・入出金照会、振替、振込がご利用いただけるサービスです。お取引時間は平日の9時から19時までで、自動音声による対応とオペレーターによる対応があります。

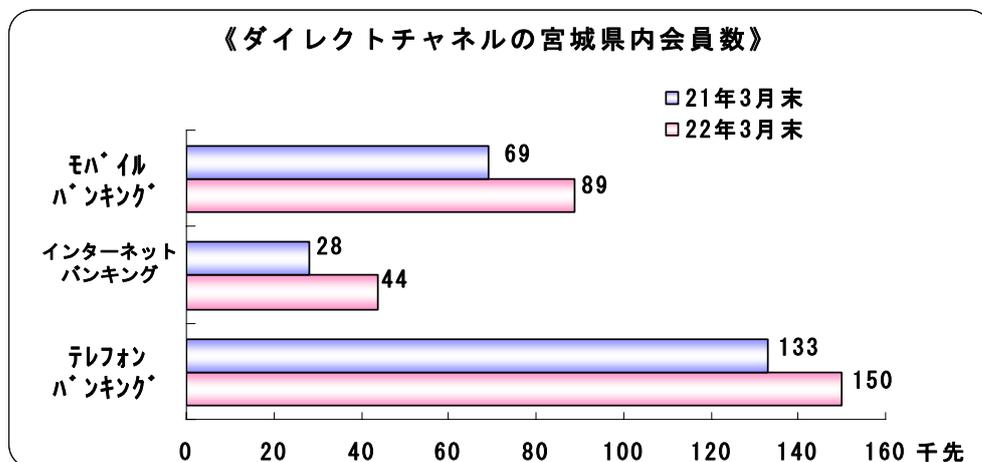
また、あらかじめ登録された利用口座については、ご住所の変更手続や1日あたりのキャッシュカード払戻し限度額の引下げ等もご利用できます。

◆インターネットバンキング

お客さまのパソコンからインターネットによりお取引いただくサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、定期預金作成・解約予約、投資信託取引、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。

◆モバイルバンキング

「iモード」、「EZweb」、「Yahoo!ケータイ」対応の携帯電話でご利用いただけるサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」（オンライン方式に限ります。）が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。また、電子マネー取引が急拡大するなか、「電子マネー『E dy』チャージサービス」（「iモード」、「EZweb」対応の携帯電話に限ります。）の取扱いも行っております。

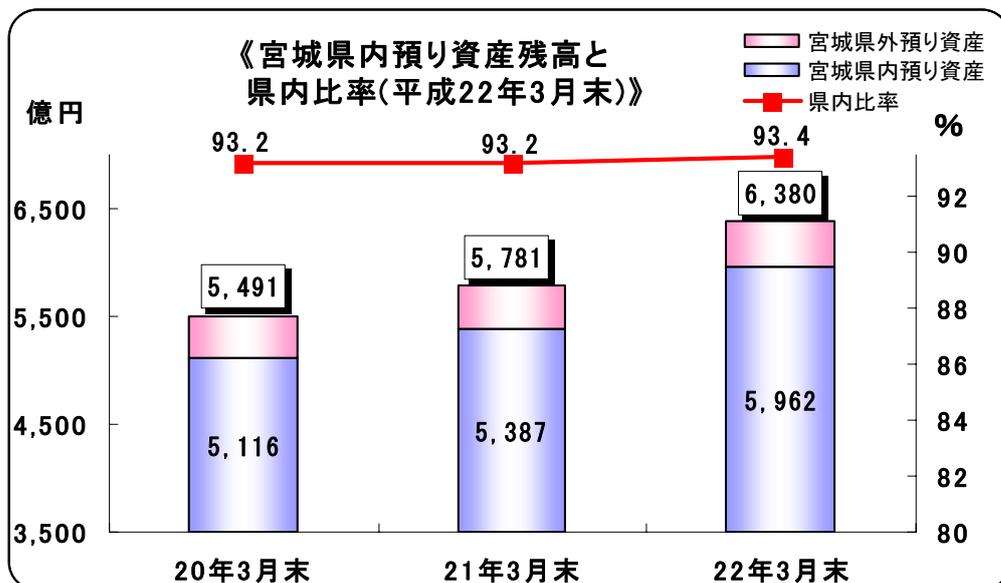
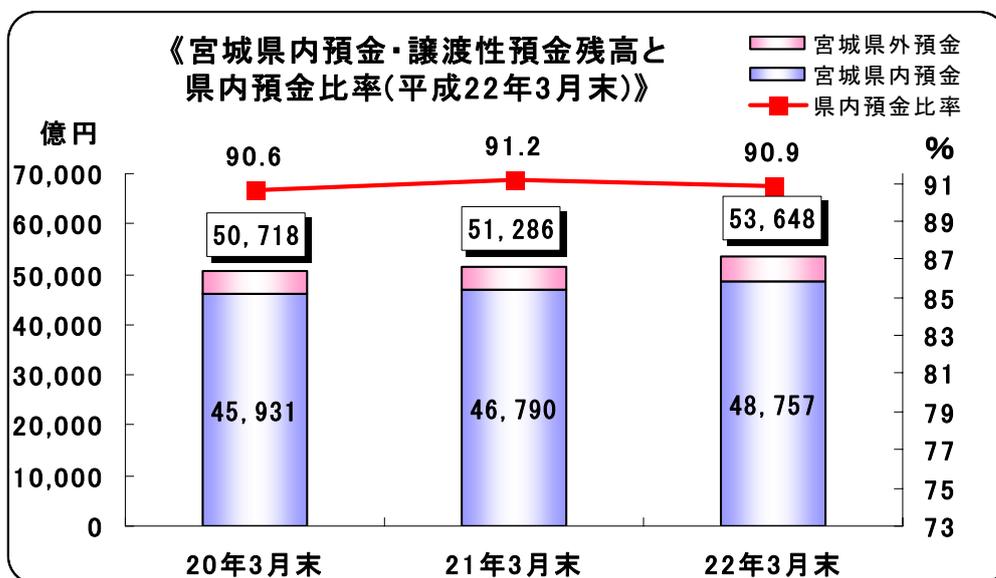


※モバイルバンキング、インターネットバンキング会員は、入会の条件として、テレフォンバンキング会員である必要があります。

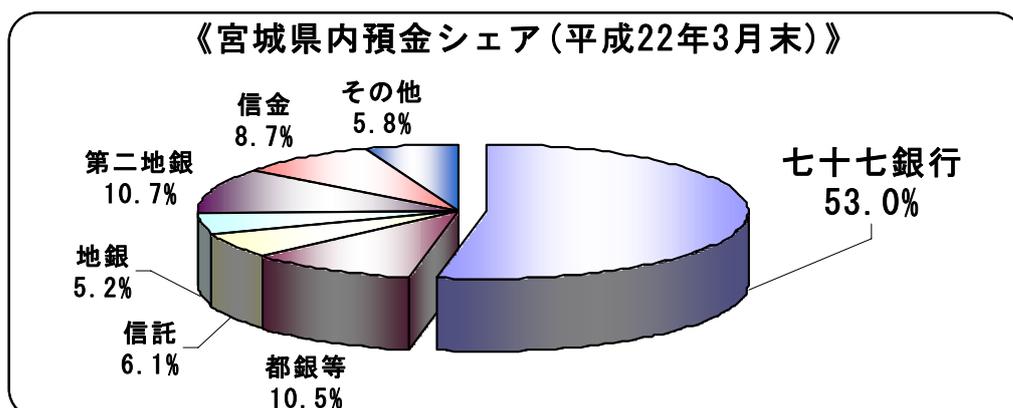
(2) 預金業務等

■ 宮城県内の預金等の取引の状況

当行は、預金・譲渡性預金や投資信託等の預り資産のいずれも、その9割以上を宮城県内のお客さまからお預りしています。預金については、金融機関の健全性が重要視されるなか地域のお客さまから高いご支持をいただき、県内シェアは53.0%となっています。



※預り資産には外貨預金を含んでおります。

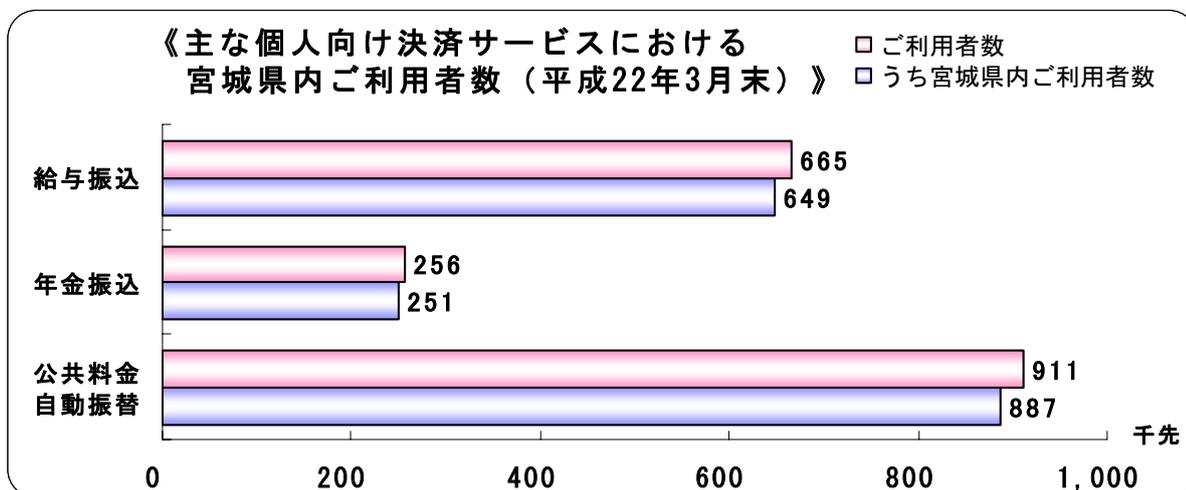


※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません。

(3) 決済サービス

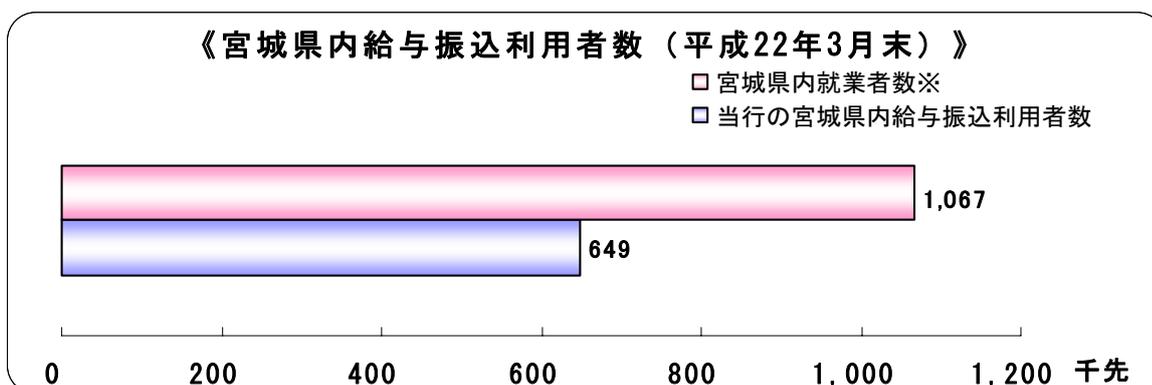
■ 主な決済サービスの宮城県内利用状況

個人のお客さまにご利用いただく当行の主な決済サービスの約98%は、宮城県内にお住まいのお客さまにご利用いただいています。

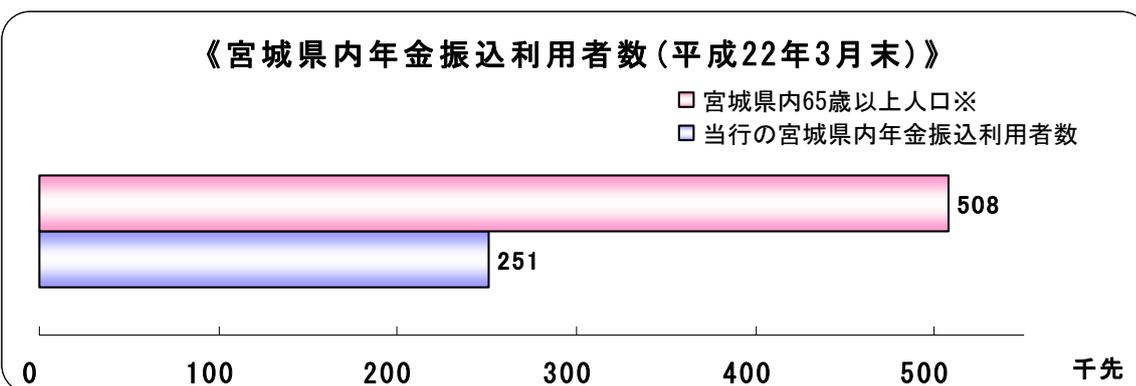


■ 給振・年金振込利用者の当行利用状況

当行の口座を利用して給与を受取る宮城県内のお客さまは、宮城県内従業者数の6割を超え、同様に年金を受取る皆さまは、宮城県内65歳以上人口の約5割となっているなど、地域の多くの皆さまから家計のメインバンクとしてご利用いただいています。



※資料：総務省「事業所・企業統計調査報告：平成18年10月1日」



※資料：総務省「住民基本台帳要覧：平成21年3月31日」

(4) その他のサービス

■ 地域の皆様への情報提供

◆ 地元企業の研修会等のサポート

当行では、地域の皆様をお招きする著名な講師による政治・経済をテーマとした講演会や、地元企業の皆さまの企業経営・社員教育等に役立つような各種のセミナー、研修会を開催しています。また、お取引先企業への講師派遣も行っています。

《外部講師による講演会・セミナーの実績（平成21年度）》

夏季経済講演会	平成21年7月、財団法人七十七ビジネス振興財団との共催で開催しました。講師に三菱UFJ証券(株) 参与景気循環研究所長の嶋中 雄二氏をお招きし、「内外景気の現状と今後の見通し」について講演いただきました。当日は地域の皆さま約180名に出席いただきました。
新春講演会	平成22年1月本店にて、政策研究大学院大学副学長の飯尾 潤氏をお招きし、「2010年 政局から政策へ 日本政治の行方」と題し、新春講演会を開催しました。当日は、約300人にご参加いただきました。

《当行行員講師による講演会・研修会の実績（平成21年度）》

地域振興部長等による講演会	お取引先企業24先に、地域振興部長・部員を派遣し、講演会・研修会で講演を行いました。
新入社員研修会	平成21年4月、本店ほか4会場にて計7回開催しました。参加人数は約350名で、社会人として必要な挨拶・電話応対等を中心に研修を行いました。
接遇対応研修会	お取引先企業など10先に対し、講師を派遣しました。

◆ 各種調査結果の公表

○ 「調査月報」(年12回発行)

宮城県内の経済・景気動向を調査・分析しています。HPでも公開しています。

○ 「調査月報特集号」

平成21年宮城県内市町村民力調査を実施し、調査結果を公表いたしました。

○ 「県内企業動向調査」(年4回実施)

宮城県内約850社の企業を対象に、県内の景況感等の把握を目的としたアンケート調査を実施し、分析結果を公表しています。

○ その他タイムリーなテーマ等についての調査・公表

平成21年度は、自動車産業に関する調査を実施し、調査月報に5回にわたり掲載しました。

◆「七十七『相続』相談ホットライン」

高齢化社会の進展を背景とした相続にかかる相談ニーズの高まりに応え、「七十七『相続』相談ホットライン」を開設しています。相談には当行行員がお応えするほか、弁護士、税理士等の専門家へのお取次ぎも致します。専門家と個別に契約する場合を除き、料金は無料です。どなたでもお気軽にご利用いただけます。



《「七十七『相続』相談ホットライン」
相談受付実績（平成21年度）》

（単位：件）

法律 360	税務 147	その他 157
--------	--------	---------

◆年金講演会、相続セミナーおよび資産運用セミナー等の開催

お客さまに公的年金や相続についてご理解を深めていただくために、年金セミナーや相続セミナーを開催しています。

また、金融資産の運用に関する情報をご提供するために、当行のマネーアドバイザーや外部講師による資産運用セミナー、投資信託セミナーを開催しています。

各種セミナーは、宮城県内各地で休日も含め開催しており、多くのお客さまに参加いただいています。

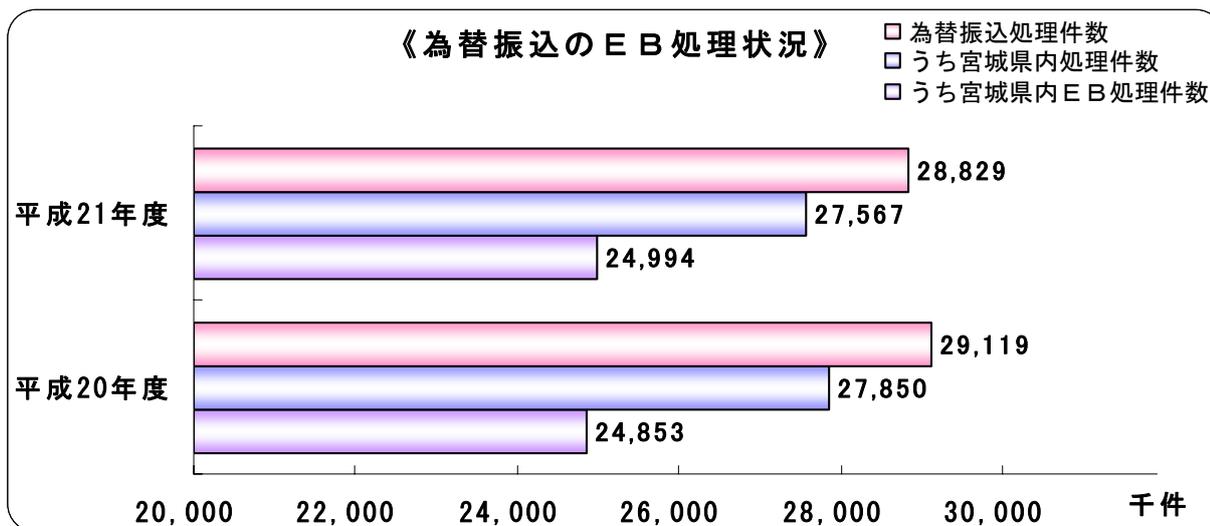
《各種セミナー等の開催状況(平成21年度)》

	年金講演会 (うち休日開催)	資産運用セミナー (うち休日開催)	投資信託セミナー	相続セミナー (うち休日開催)
開催回数	2回 (1回)	122回 (49回)	12回	3回 (1回)
開催カ所 (累計)	2カ所	24カ所	4カ所	3カ所
参加人数 (累計)	204名	1,445名	1,099名	58名

■ E B等の推進

当行では、お待たせしない窓口づくりの一環として、為替振込等取引の電子化(E B)等を推進しています。インターネットバンキングなどのE B媒体やA T M等をご利用いただければ、窓口でお待ちいただくことなく取引できることに加え、窓口ご利用の場合と比べて振込手数料がお安くなります。

現在、当行の為替振込処理のうち約96%が宮城県内のお客さまからのご依頼分であり、そのうち約9割をA T M、インターネットバンキング、ファームバンキング等にてお取扱いしています。



《F B契約先数（平成22年3月末）》

(単位：先)

F B契約先数	セブンメイト・ セブンメイトPC		セブンメイト W e b		
	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	
16,607	15,502	3,649	3,536	8,431	7,997

■ その他のサービス

◆ 〈七十七〉ポイントセブン

〈七十七〉ポイントセブンは給与振込・年金振込などのお受取りや公共料金の自動支払いなどお客さまとの取引をポイントに換算し、合計ポイント数に応じてローン金利や手数料の割引などの特典を提供するサービスです。

平成21年5月からは、コンビニA T Mの利用手数料優遇（月2回まで）やポイント対象取引の追加など、優遇サービスを追加・拡大してご提供しています。

■子会社等を通じた利便性の提供

◆リース業務

グループ会社の「七十七リース」においてリース業務を行っています。主として宮城県内企業に対し、ファイナンスリース等を取扱っています。

《宮城県内事業所に対するリース契約状況(平成22年3月末)》

リース契約先数(先)	うち宮城県内(先)	
	先数	同比率(%)
3,793	3,466	91.4%

◆クレジットカード業務

グループ会社の「七十七カード」において、クレジットカード業務を行っています。J C B、V I S A、M a s t e r の各カードを取扱っています。

《宮城県在住の七十七カード個人会員の状況(平成22年3月末)》

	七十七カード個人会員数(人)		
	会員数	うち宮城県内(人)	同比率(%)
J C B	129,049	118,011	91.4%
V I S A	48,554	45,336	93.4%
M a s t e r	2,464	2,284	92.7%
合計	180,067	165,631	92.0%

◆計算業務等の受託

グループ会社の「七十七コンピューターサービス」において計算業務等の受託を行っています。

《宮城県内事業所からの計算業務等の受託状況(平成22年3月末)》

	受託事業所先数(先)		
	先数	うち宮城県内(先)	同比率(%)
民間事業所	76	75	98.7%
地方公共団体	24	24	100.0%
その他	5	5	100.0%
合計	105	104	99.0%

◆労働者派遣業務

グループ会社の「七十七スタッフサービス」において労働者派遣業務を行っています。当行への派遣のほか、宮城県内企業に対する派遣を行っています。

(1) 地元企業のサポート

■ 資金調達手段の多様化への対応等

◆ 私募債の受託・引受

当行では、「銀行保証付私募債」、「県信保付私募債」の受託および引受を行っております。当行がその元利金支払を全額保証する「銀行保証付私募債」では、期日一括償還型のほか、定時償還型も取扱い、お取引先企業の資金調達ニーズに幅広くお応えしております。なお、平成22年3月末の取扱残高は、121件122億円となっております。

◆ アグリビジネスへの取組強化

当行では、農業者向け融資商品の充実、ビジネスマッチングへの積極的な取組み、本部行員（6名）による「農業経営アドバイザー」資格の取得等を通じて、アグリビジネスの育成・振興を図っております。

《アグリビジネスへの取組状況：平成21年度》

実施時期	取組内容
平成21年6月	宮城県との共催で、食料品製造業者の販路開拓支援等を目的とした「みやぎビジネス商談会」を開催
7月	宮城県農業法人協会に賛助会員として加入
9月	(株)日本政策金融公庫との提携による、農業者向け専用融資商品「77アグリパートナー50」の取扱開始
平成22年2月	(財)七十七ビジネス振興財団主催による「農商工連携セミナー」の開催
3月	当行農業経営アドバイザーによる行員向け目利き力養成講座「アグリビジネス講座」の実施

◆ 動産担保融資（ABL）への取組み

当行では、地元企業の円滑な資金調達を支援するとともに、お取引先に対して多様な資金調達手法を提供する観点から、積極的に動産担保融資（ABL）に取り組んでいます。

ABLサービス提供大手のトゥルーバグループホールディングス(株)との提携により、棚卸資産の適正な評価、管理を行うとともに、保証協会付ABLへの取組みを強化し、お取引先の棚卸資産を担保として取得、融資枠を設定することで、お取引先の資金ニーズに対して機動的かつ安定的な資金調達手法を提供しております。その結果、平成21年度は冷凍海産物やワイン等、さまざまな棚卸資産を担保としたABLを実行し、取組実績は10件/1,040百万円となりました。



■ お取引先企業への情報提供等

◆ ビジネスマッチング

当行はお取引先の皆さまの経営を支援するため、ビジネスマッチングの情報提供とコンサルティング機能の充実に努めています。

宮城県内128カ店と県外15カ店の営業拠点(平成22年3月末現在)を活用し、お客さまからさまざまな情報やニーズをお受けしています。これらを営業店網を通じて他のお取引先企業に提供し、お客さまの商談や経営効率化等につなげられるよう努めています。



商談会名	みやぎビジネス商談会	おいしい山形・食材王国 みやぎビジネス商談会	地方銀行 フードセレクション
開催時期	平成21年6月	平成21年10月	平成21年11月
主催者	当行、宮城県	当行、宮城県、山形県、山形銀行、やまがた食産業 クラスター協議会	地銀15行による共催
参加企業数	仕入企業 52社 納入企業 68社	仕入企業 43社 納入企業 69社	396社
特徴	宮城県の主力産業である食料品にテーマを絞って開催し、482件の商談が行われました。	太平洋と日本海に面した地域特色のある食材をスーパー、百貨店等延べ43社の仕入企業に対しPRしました。	首都圏はじめ全国への販路拡大ニーズのある取引先を集め、東京で開催しました。

◆ 77 BUSINESS SUPPORT

「77 BUSINESS SUPPORT」は、当行ホームページにおいて企業活動に資する情報をお取引先企業に無料で提供する会員制サイトです。このサイトでは、全国の地方銀行の会員間で営業情報を共有しビジネスに結びつけるコーナーや、ニュース・経営情報等を常時提供しています。

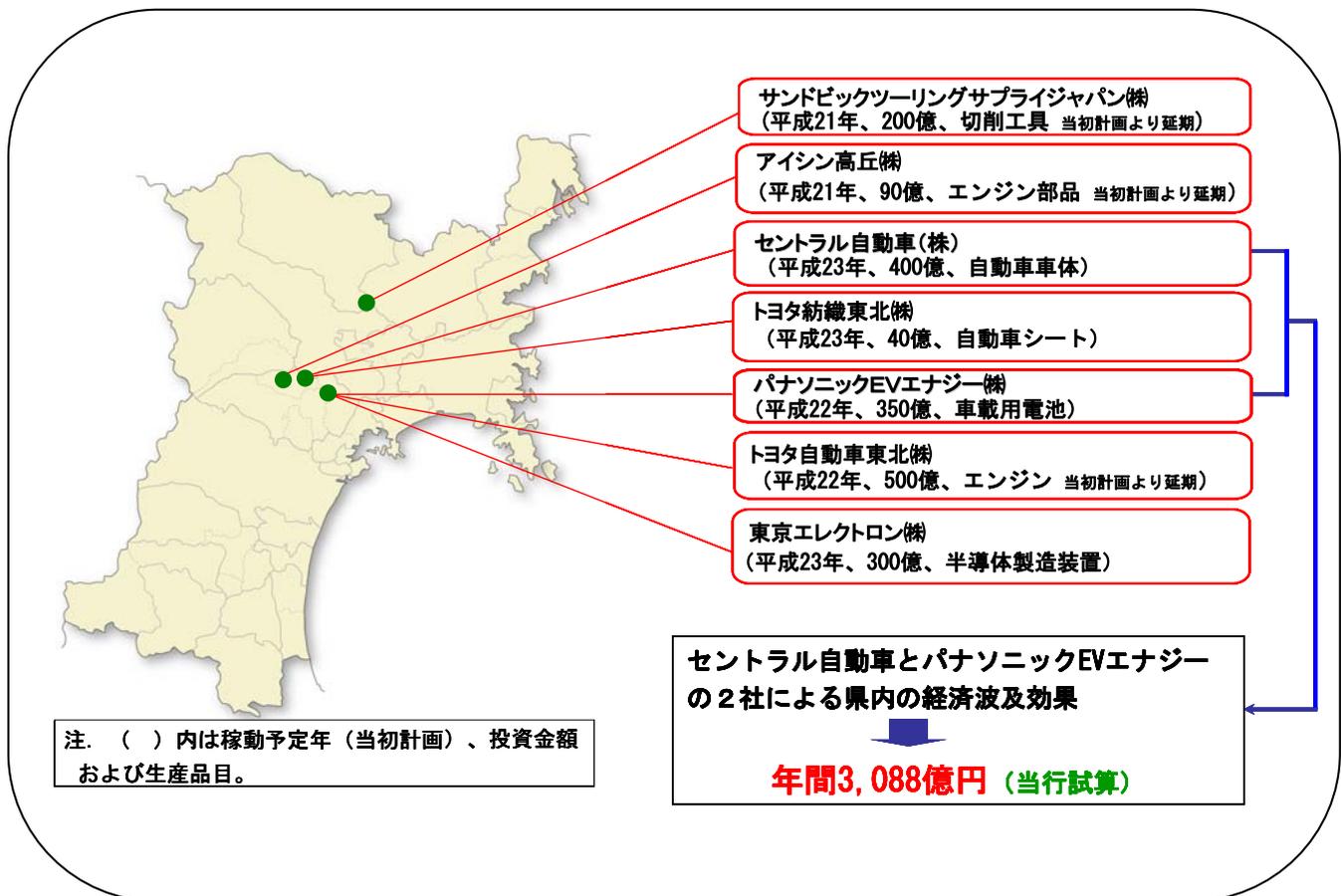


◆宮城県への進出企業に対する取組み

宮城県を中心に、東北地方では大手製造業の進出が相次いでいます。平成21年12月にセントラル自動車(株)の宮城新工場が完成し、平成22年1月には、パナソニックEVエナジー(株)が、ハイブリット車用電池の生産を開始しました。今後、東北地方で年間約50万台の車輛生産が見込まれており、ますます企業集積が進むことが期待されます。さらに、東京エレクトロン(株)が正式に進出を決定したことから、半導体製造装置部品に関連する企業進出も活発化することが予想されています。

当行では、こうした状況下、平成21年3月に新設した「地域振興部」を中心に本部と営業店が連携し、進出企業および従業員の皆さま、そして進出企業への製品納入等、新たなビジネスチャンスに積極的に取組む地元企業の皆さまをあらゆる面からサポートしてまいります。

《宮城県への主な企業進出動向》



《本部・営業店一体となった取組み》

- 進出企業向け取引 (運転・設備資金融資等)
- 従業員向け取引 (給振口座、住宅ローン等)
- 地元企業向け取引 (運転・設備資金融資、ビジネスマッチング、セミナー開催による情報提供等)
- 行員向けセミナーの実施 (自動車関連進出企業の現地視察や情報活用に向けた講義等)

■ 地元企業の経営相談等への取組状況

◆ 経営相談

ソリューション営業課では、お電話や営業店を通じ、企業の皆さまから法律・経営・財務・税務に関するご相談をいつでも無料で受けています。また、毎週特定日には専門家による無料相談も行っています。

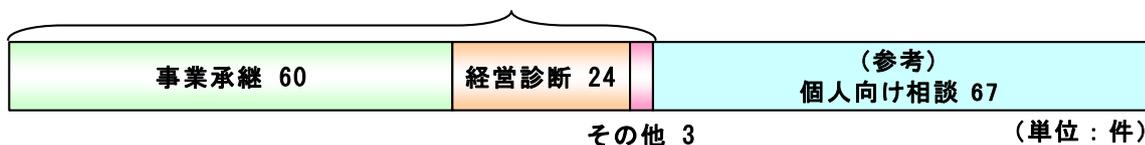
《宮城県内企業からの経営相談実績(平成21年度)》

○ 相談受付件数：合計321件（うち嘱託専門家：101件）

その他 2



○ 報告書・提案書作成件数：合計87件



※事業承継とは、自社株の評価等事業の承継等に関する相談を、経営診断とは、財務分析、事業開始に伴う商圏・業界調査等に関する相談をいいます。

◆ 海外取引等のサポート

○ 上海駐在員事務所によるサポート

経済の国際化と産業構造の変化に伴い、地元お取引先企業の中国に関係するビジネスが増加し、現地に進出する企業も増加しています。上海駐在員事務所では、こうした中国に関する地元お取引先企業のニーズに対応し、きめ細かいサポートを行っています。

平成22年1月には、中国経済の最新情報や参加企業間のビジネス交流の機会のご提供を目的に、地銀4行と合同で「上海ビジネス交流会2010」を上海市にて開催し、当日は163社が参加し、活発な企業間交流が行われました。

○ 上海での商談会の開催

当行ではお取引先企業の中国での販路拡大や調達、市場調査等の機会を提供するため、商談会を開催しています。

21年7月には、機械・金属・プラスチック等製造業のお取引先企業向けに、上海市で「ものづくり商談会@上海(2009 SUMMER)」を地銀10行と合同で開催しました。上海市での製造業向け商談会の開催は4回目となりましたが、当日は中国企業約1,400社が来場し、延べ3,000件を超える商談が行われました。また、平成21年10月には同じく上海市で、食品関連のお取引先企業を対象に、「日本食品展示商談会in上海」を地銀11行と合同で開催しました。この商談会は上海市において開催される日本食品関連イベントとしては最大規模のもので、延べ3,000人を越える来場者があり、活発な商談が行われました。

○ 海外ミッションの派遣

海外進出や海外取引を希望するお取引先企業を対象として、海外への視察団(海外ミッション)を派遣し、現地の経済情勢や投資環境等の視察・調査を行っています。平成8年の開始からこれまで14回の派遣を行っており、毎回15社前後のお取引先企業が参加しています。

○セミナーの開催等

地元企業の皆さまへの海外の経済情勢、投資環境等にかかる情報提供を目的として、セミナーの開催を行っています。平成21年5月には、本店で「『世界不況とアジア』ータイ、ベトナム、インドの現状と投資環境」をテーマに各国の投資環境に関する「七十七国際セミナー」を開催しました。

○ニュー台湾ドルの外貨両替サービス取扱開始

日台間の往来が活発化する中、台湾をビジネスや観光で訪問されるお客さまの外貨両替ニーズに対応するため、平成21年10月よりニュー台湾ドルの外貨両替サービスを本店営業部、仙台空港出張所の2ヵ所で開始しました。

◆地元企業への人材派遣

当行の平成22年3月末の外部出向者22名のうち、7割以上の16名を宮城県内企業に派遣しています。

《宮城県内企業への人材派遣実績（平成22年3月末）》
（単位：人）

外部出向者数	うち宮城県内企業	
	人数	同比率
22	16	72.7%

（注）当行のグループ会社、関連団体への出向者を含みません

■地元企業再生への取組状況

当行では、企業活力を十分に発揮できていないお取引先企業の「早期再生」支援の強化を通じて地域経済の一層の活性化に寄与するため、審査部に「企業支援室」を設置しています。併せて、お取引先企業の経営に対する指導・助言を強化する「ランクアップ活動」も実施しています。

また、事業再生への取組みにあたっては、「中小企業再生支援協議会」や、事業再生ファンドなどの各種再生手法も活用しています。

《ランクアップ活動の状況（平成21年度）》

（単位：先、億円）

ランクアップ内容	先数	貸出額
経営改善支援の取組先数	663	2,559
実質破綻先から上位区分へ	2	32
破綻懸念先から上位区分へ	5	121
要管理先から上位区分へ	7	47
要管理先以外の要注意先から正常先へ	82	223
合計	96	423
うち宮城県内取引先 （宮城県外本社の上場企業を除く）	89	393

(2) 企業の育成への取組み

■ 企業育成への取組状況

◆ 創業企業等への投融資の状況

当行では、地域金融機関として地元中小企業を育成する観点から創業（ベンチャー）企業等に対し、以下のような融資制度、投資事業を行っています。

77ニュービジネス支援資金	ご融資金額1億円以内で、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金、事業展開資金としてご利用いただけます。また産業クラスター計画関連等の補助金や委託費の交付決定先企業を対象に「つなぎ資金」の取扱いも行っております。
宮城県等の各種制度融資	宮城県の創業育成資金、仙台市の新事業創出支援融資制度等の創業企業向け各制度融資を積極的に活用しています。
ベンチャー育成ファンド「あおばサクセス番号投資事業有限責任組合」	みやぎ産業振興機構のほか、当行をはじめ宮城県内大手企業等13団体が5億4千万円出資し、宮城県内の産業振興、雇用対策を目的に、宮城県のほか東北地域に本社を置く企業を中心に投資しています。
産学官連携ベンチャーファンド「東北インキュベーション投資事業有限責任組合」	当行をはじめ宮城県・仙台市ほか12団体が31億8千万円を出資し、東北地域における新規事業の創出および中小企業等の成長支援を目的に投資しています。
ベンチャー企業等投資ファンド「東北グロース投資事業有限責任組合」	当行をはじめ東北経済連合会ほか20団体が35億8千万円を出資し、東北地域におけるベンチャー企業および第二創業を行う既存企業の成長支援を目的に投資しています。

◆ 商工会議所等との提携

当行では、地域金融機関として地元取引先企業に対する経営相談・支援機能の取組強化の観点から、県内商工会議所および宮城県商工会連合会との提携を行っています。提携商工会議所等の会員は、特定の融資商品を優遇金利でご利用いただくことができます。

《宮城県内商工会議所等との提携実績（平成22年3月末）》

提携先	提携融資商品	宮城県内取扱実績
宮城県商工会連合会	77ビジネスローン 〈フォワード30〉 〈アクティブ10〉 〈アクティブ30〉	708件/ 5,836百万円
仙台商工会議所		
石巻商工会議所		
古川商工会議所		
塩釜商工会議所		
気仙沼商工会議所		

◆産学連携への取組み

当行は、産学の連携を通じた地域の発展と地域経済の活性化に資することを目的とし、国立大学法人東北大学と連携協力に関する協定を締結しています。

平成21年12月には、地域貢献の一環として東北楽天ゴールデンイーグルス野村克也名誉監督と東北大学川島隆太教授を迎え、「東北大学・七十七銀行共催講演会」を開催し、当日は約1,000名が参加しました。

また、地域の大学、高専等で組織するKCみやぎ推進ネットワークに加盟しており、地域金融機関として、事業経営の様々な場面におけるビジネス支援を行っております。

今後についても、相互の専門能力および人材等を活かし、地域企業に対する情報提供や技術協力等を通じて、産学連携の一層の推進に貢献してまいります。



◆七十七ビジネス振興財団

当行は、宮城県の産業振興と経済発展への貢献を目的として、平成10年4月に「財団法人七十七ビジネス振興財団」を設立しています。

同財団では、評価の高い商品・サービス、優れた技術力・経営手法をお持ちの企業を対象とした「七十七ビジネス大賞」と、新規性や独創性のある技術やノウハウ等により積極的な事業展開を行っている企業、および新規事業活動を志している起業家を対象とした「七十七ニュービジネス助成金」の表彰事業（年1回、11月）を行っています。また、講演会やセミナーの開催のほか、情報誌の発行などを行っています。

なお、七十七ビジネス振興財団は、平成22年4月に公益財団法人に移行いたしました。

第12回七十七ビジネス大賞受賞企業

加美電子工業株式会社	(加美郡加美町)
東北ゴム株式会社	(仙台市)
ヤマセ電気株式会社	(加美郡色麻町)

第12回七十七ニュービジネス助成金受賞企業

株式会社アルファ	(仙台市)
KFアテイン株式会社	(仙台市)
東北オータス株式会社	(仙台市)



(3) 地方公共団体の事業との関係

■ 指定金融機関業務の受託状況

宮城県および県内35市町村、合計36地方公共団体のうち、35団体から公金取扱業務を受託（指定金融機関、指定代理金融機関合計）しており、公金の収納や支払等の事務を通じ、幅広く県内の皆さまにご利用いただいています。

また、当行は、地域の皆さまの利便性を考慮し、地方公共団体の庁舎内や関連施設内43カ所に、52台のATMを設置しています。

《宮城県内地方公共団体からの指定金融機関業務の受託状況（平成22年3月末）》

(単位：先)

「指定金融機関」 を受託 28	「指定代理金融機関」を受託 7	指定なし 1
-----------------------	--------------------	--------

■ 地方公共団体向け資金供給の状況

◆ 地方公共団体向け貸出の状況

当行は、豊かで住みよい街づくりのために、地方公共団体に対し円滑な資金供給に努めており、道路や病院、学校等の整備事業や福祉の向上など地域社会の発展に積極的に協力しています。平成22年3月末現在、当行は宮城県内36の地方公共団体のうち、35団体に貸出を行っています。

《宮城県内地方公共団体向け貸出金等の状況》

(単位：先、億円)

	貸出金		(参考) 預金・譲渡性預金	
	取引地方公共団体数	残高	取引地方公共団体数	残高
平成21年3月末	35	6,555	36	2,522
平成22年3月末	35	6,630	36	2,954

(注) 特別地方公共団体、地方公社との取引を除きます。

■ 産業振興に関する協力

◆ 宮城県、三井住友銀行との産業振興に関する協力協定締結

県内企業と県外企業の取引促進や自動車産業等の集積に向けた連携を強化することで、宮城県における産業経済の成長を促進し、地域全体の活性化を図る観点から宮城県、三井住友銀行と「産業振興に関する協力協定」を締結しています。

協定に基づく事業として、平成21年10月に「省エネルギーセミナー」、平成22年2月に「海外ビジネスセミナー&個別相談会」および「平成21年度宮城県自動車関連産業新規参入セミナー」、3月に「省エネルギー・コスト削減実践セミナー」を開催しました。今後も、3者が連携・協力し、宮城県の産業振興施策を支援してまいります。



■地方債の引受状況

当行は、地方公共団体の発行する市場公募地方債、共同発行公募地方債を引受しています。平成21年度は、市場公募地方債125.2億円、共同発行公募地方債6億円を引受けました。

《宮城県内地方公共団体発行 市場公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	市場公募地方債※発行総額	
		うち当行引受額
平成20年度	280	70.3
平成21年度	540	125.2

※住民参加型を含みます

《共同発行公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	共同発行公募地方債発行総額		
		うち宮城県・仙台市調達分	
			うち当行引受額
平成20年度	12,300	830	6
平成21年度	13,900	940	6

■PFI事業への取組み

財政負担の軽減と公共サービスの質の向上を図るため、宮城県や県内市町村においてPFIによる公共事業の実施検討が増加してきています。

当行では、これまで宮城県内で7件のPFI事業について融資金融機関として参加しており、うち2件については事業者のメイン行としてアレンジャー兼エージェント業務を行っています。

<取組実績>

- ・仙台市/松森工場関連市民利用施設整備事業(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・仙台市/野村学校給食センター整備事業(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・東北大学/学生寄宿舍PFI事業(融資金融機関)
- ・石巻地区広域行政事務組合/消防本部庁舎移転整備事業(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・仙台市/天文台整備・運営事業(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・宮城県/教育・福祉複合施設整備事業(融資金融機関、建中アレンジャー)
- ・石巻地区広域行政事務組合/養護老人ホーム改築事業(融資金融機関、アレンジャー)

当行は、今後もPFI事業に取組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行ってまいります。

■地方公共団体関連事業への人材派遣

当行の地方公共団体関連事業への人材派遣実績は、平成22年3月末で3名となっています。

■セミナーの開催

当行は、平成21年11月、「地方自治体向けセミナー」を開催し、地域の経済力向上、財政の健全化、および公金収納の合理化といった地方公共団体が抱える問題点について、情報提供を行いました。当日は宮城県および県内市町村等から約120名の地方自治体職員が参加しました。

■地域環境の保護

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙の利用や処分文書の再生処理など、日常的な環境負荷の逡減にも留意しています。

また、環境保護等の社会貢献に積極的な企業向けに金利等を優遇した商品や、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品を取り揃えております。

平成21年1月～6月には、環境に配慮した住宅取得を後押しする「住宅ローン環境サポートキャンペーン」を実施したほか、平成21年5月にはハイブリッド車等の環境にやさしい自動車を新規にご購入する方を対象にローン金利を引下げました。当行においても低燃費の軽自動車やハイブリッド車の導入を進めるなど、環境対応車への切り替えを順次行っています。

また、当行は電力使用量の削減による温室ガス排出削減に一層貢献するため地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」や「仙台・みやぎクールビズ宣言」に賛同し、「夏の軽装勤務（クールビズ）」を実施しています。

■社会福祉への貢献

◆「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、34年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

○「クリーンキャンペーン」への参加

仙台七夕まつり開催前に毎年行われている「クリーンキャンペーン」には、当行から約50名が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしています。

○車椅子の寄贈

毎年、運動本部（東京）から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。



○社会福祉施設等の慰問

毎年、県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線等演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

◆愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。平成21年度は、24団体に総額340万円の寄付を行いました。

◆ピンクリボンフェスティバルへの協賛

当行は、乳がん対策の重要性を訴えるピンクリボン活動の社会的な意義を踏まえ、地域での乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるため、平成19年より「ピンクリボンフェスティバル」に協賛企業として参加しており、平成21年も「ピンクリボンフェスティバル2009」を協賛するなど積極的な支援を行っています。

◆七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成21年度新入学児童向けとして本年も宮城県内全ての小学校に合計約2万4千枚を贈呈しました。

◆企業献血による献血事業への協力

当行では、医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、県内全店を対象とした企業献血を実施しております。平成21年度は県内22箇所の支店駐車場等に移動採血車が巡回し、延べ27回の献血を実施しました。また、当行は厚生労働省の献血推進事業である「献血サポーター」に参加しており、今後も献血の普及・啓発に寄与してまいります。

■地域との交流

◆地域行事への参加、協賛

宮城県では、仙台七夕まつりをはじめさまざまな地域行事が開催されています。平成21年度は、仙台青葉まつりなど、6つのお祭りに約410名の当行役職員が参加しました。さらに各営業店では、営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じた地域行事への参画など、地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は県内各地のお祭り等さまざまな地域行事へ積極的に協賛しています。



◆ロビー展の開催

当行では、地域との交流をはかるため、営業店のロビーを開放してお客さまの写真展や絵画展を開催したり、地域のさまざまな活動を紹介しております。平成21年12月には、「SE NDA I光のページェント」の時期に合わせ、保育園児が描いた「クリスマス」の絵を一番町支店ショーウィンドウに飾り、皆さまとともにクリスマスムードを盛り上げました。

◆七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は当行の創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝をこめ開設しました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しており、平成21年度は約1,700名のお客さまにご来館いただきました。平日の午前9時から午後3時までの開館です。



◆全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会の開催

人生設計や生活防衛に不可欠な金融経済知識を習得する教育事業を通じて、地域への社会貢献を図るため、特定非営利活動法人金融知力普及協会との共催により、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会を開催いたしました。宮城大会へは県内9校から18チーム（36名）が参加し、熱戦が繰り広げられました。優勝チームは、宮城県を代表して全国大会へ出場しました。

■スポーツの振興

◆地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ／ベガルタ仙台と、プロ野球パシフィックリーグ／東北楽天ゴールデンイーグルス、およびバスケットボールbjリーグ／仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元プロスポーツチームの活動を支援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。また、総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しており、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただいております。



◆仙台国際ハーフマラソン、市民マラソンin仙台への協賛

当行は、仙台市で開催される「仙台国際ハーフマラソン」、「市民マラソンin仙台」の両大会に協賛しています。スタッフジャケットやゼッケンを提供しているほか、交通規制看板の設置などに協力しています。

◆ 運動部の活動を通じたスポーツ振興

当行では、運動部の活動を通じて地域のスポーツ振興に取組み、地域貢献を図っています。

硬式野球部、陸上競技部、バドミントン部は、都市対抗野球大会や日本陸上競技選手権大会、バドミントン日本リーグなど、全国レベルの大会等に出場しているほか、日々の活動において指導教室等を開催し、地域のスポーツ振興に寄与しています。



◆ 企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

○ 硬式野球部

- ・第80回都市対抗野球大会 出場 三回戦進出

○ 陸上競技部

- ・第93回日本陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第6位
- ・第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
女子400mハードル 第3、4位入賞
女子400m 第4位入賞
女子400mリレー 第2位入賞
女子1600mリレー 優勝



○ バドミントン部

- ・第52回全日本社会人バドミントン選手権大会
女子シングルス第3位
女子ダブルス 第5位



◆ 小中高生に対する技術指導等

○ 硬式野球部

平成21年11月、石巻地区の高校球児約200名を対象に技術講習会を開催したほか、平成21年度は県内2カ所で少年野球チームの小学生延べ約180名を対象に少年野球教室を開催しました。

○ 陸上競技部

平成21年6月、地域社会との交流や地域の陸上競技の競技力向上を目的として「第3回七十七銀行陸上競技記録会チャレンジ2009」を開催しました。当日は宮城県内の中高生や一般の選手を中心に、約1,300名が参加しました。また、「小学生陸上クリニック」への参加や各地区の高体連強化練習会への参加など、日々の活動において、随時実技指導、合同練習などを行っています。

○ バドミントン部

県内の大学・高校等との合同練習会を随時開催しているほか、平成21年8月には、宮城県中体連主催のバドミントン強化練習会に、また、平成21年9月には白石市バドミントン協会主催の白石市バドミントン教室に、それぞれバドミントン部員が指導・講師として参加しました。また、平成21年度は県内3カ所で、小中学生延べ約300名を対象とした講習会に講師として参加しました。

■文化活動の後援

◆公演・展覧会への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っています。平成21年度は「第53回全東北ピアノコンクール」や「国際親善交流特別演奏会」、「第46回宮城県芸術祭」をはじめ数多くの文化・スポーツ活動への協賛を行いました。

◆「七十七ふれあいコンサート」の開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力していただき、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

平成21年度は、9月に通算41回目となるコンサートを宮城県七ヶ浜町で地域の小中学生約500名を招待し、指揮者体験や楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただきました。

◆「七十七スターライトシンフォニー」の開催

当行の芸術文化振興活動の一環として、また仙台冬の風物詩 “SENDAI 光のページェント” の参加企画として、平成3年から毎年開催しているコンサートです。

毎回、オーケストラの演奏をバックに著名なアーティストが出演しており、平成21年12月には「さだまさし with 仙台フィルシンフォニックナイト」と題し、地域の皆さまにお楽しみいただきました。

当日は一般応募者の中から、抽選で1,600名の地域の皆さまをご招待したほか、約30名の交通遺児とそのご家族の方々もお招きしました。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう、会場ロビーにおいてチャリティー募金を実施しました。



◆「東北大学への寄附講座」の開設

平成20年4月、地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて、地域社会への貢献を図るため、地域の経済金融に関する教育研究をテーマとした寄附講座を開設しました。

寄附講座の概要

開設部局：国立大学法人東北大学大学院経済学研究科
 講座名称：地域経済金融論（七十七銀行）寄附講座
 期間：平成20年4月1日～平成22年3月31日
 大学院授業：「地域経済論」「地域金融論」
 学部授業：「都市経済学特別講義」「銀行論特別講義」（平成21年度）

発行：株式会社七十七銀行 総合企画部 広報・関連事業課
 〒980-8777 仙台市青葉区中央三丁目3番20号
 TEL 022-267-1111(代)

ホームページアドレス <http://www.77bank.co.jp/>